新京日日新聞
夕刊
八月二十六日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 (税)一ヶ月拾五錢
廣告料 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

支那の排日募る

成都の排日暴徒 邦人四名を襲ふ
二名は重傷、二名は行方不明
總領事館再開を前に

某所着電第一報＝成都に我が總領事館を再開すべく同地赴任の途にある岩井總領事代理に隨行して四川省視察に赴いた大每社員渡邊洸三郎氏その他三名の一行は二十五日成都において排日暴徒の襲撃を受け二名は重傷二名は行方不明となつた

戒嚴令布かる

第二報＝排日暴動益々猖獗を極めつゝある成都は目下戒嚴令が布かれ市内は物々しい凄慘な光景を呈してゐる

重慶、成都間連絡杜絶 詳細なほ不明
岩井總領事代理解決に當る

第三報＝成都において排日暴徒の襲撃を受けた四名の邦人は成都總領事館再開のため赴任の途重慶において支那官憲に阻止された岩井總領事代理に先行して成都に入つた滿鐵社員田中武夫、上海每日新聞社員深川經二、大每社員渡邊洸三郎、貿易商瀨戸成一の四名で渡邊、深川の兩氏は目下なほ行方不明、田中、瀨戸兩氏は重傷なるも生命に別條なき見込みである、右により岩井總領事代理は無事重慶に止り今回の成都事件解決に焦慮しつゝあること判明したが重慶、成都間は通信連絡杜絶し詳細不明である、因に田中滿鐵社員は今回の異動で上海事務所から滿鐵本社に轉任したのでその赴任を前に四川視察に赴いたものである

責任を追及
斷乎たる策をとるに決定

【上海廿五日發國通】成都に於る暴徒の日本人殺害の報に支那側は極度に狼狽し、現地に向つて詳細なる照會電を發すると共に、對策に腐心しつゝあるが、我が南京出先當局は近日歸京する張群外交部長に會見を求め、取敢へず支那側の責任を追及斷乎たる策を講ずるに決定した

須磨總領事語る

【南京廿六日發國通】成都邦人殺害事件に關し須磨總領事は語る

成都總領事館再開は國交調査の爲め喜ぶべきところでこそあれ支那側が反對する理由はない、それにも拘らず斯くの如き態度に出る事は明かに支那側の敵對行爲と見る外はない、自分は陳介外交部次長に會つた時も先手を打つて此の點を極力主張し反日行爲の取締りを要求して置いた、何れにしても事件は極めて重大だ

志波重慶署長 成都に急行

【重慶廿六日發國通】重慶領事館志波警察署長は廿五日午後二時巡査一名、醫師一名を帶同、飛行機で成都に急行した

蔣伯誠秘書 暗躍

蔣介石氏腹心の部下蔣伯誠は蔣介石氏の命を受け藍衣社員廿四名を十二組に分ち之を河北主要都市に派遣し自ら總指揮として八月二日より河北要人の行動並に日支間の各種通絡狀況及び察哈爾、綏遠方面に於ける內蒙工作の眞相を知る可く活動を開始せるが蔣伯誠自身は表面に立たずして機要秘書たる汪强を使用代理として濟南に密派し目下同地を根據地として策動しつゝあり

總領事館開設は既定方針通り
事件解決の爲めには
當局斷乎たる態度に出てん

【東京國通】四川省成都における邦人四名襲擊殺傷事件に關し外務省には廿五日迄には何等公電がないが、成都總領事館再開に對し四川省政府當局が種々の奸策を弄して之を拒否し對日空氣は惡化してゐる折柄外務當局は成行きを重視し只管公電の到着を待ちわびてゐる、外務省では成都總領事館再開に決し岩井總領事代理を派遣するや支那側は查證を發行せず或は飛行機座席の購入を妨害する等極力同氏の成都入りを拒否する態度に出で強いて成都に入るならその生命の安全を保證せず等と極言するに至つたので同氏は止むなく重慶に止まり地方當局と折衝を續けて居た、而して蔣介石氏はその國防計畫に於て成都を最後の避難所として國都を茲に移す計畫を樹て極力外國勢力進入を防遏する作戰から既得權益たる我四川總領事館の再開を拒否し、最後的手段として邦人の身邊を脅かし、岩井總領事代理の成都入りを防止する爲排日團體を使嗾して今回の擧に出たものと思はれる、然し乍ら外務當局は既得權益確保の爲飽く迄總領事館開設の既定方針を堅持して居るので公電到着を待つて須磨南京總領事に訓電を發し國民政府に對し右の襲擊事件に關し嚴重抗議せしむべく、極めて强硬態度を持すると共に岩井總領事代理の身邊安全を保證して成都總領事館の開設を行はしめる樣斷乎要求する方針である

滿ソ國境委員會交涉 再び軌道に復すか
ユ大使に我提案の主旨說明

【東京國通】ユレネフ大使は本國政府の訓令に基き廿五日午後有田外相を訪問日滿側の提案中疑問の點に就き左の問答を重ねた、ユレネフ大使は「從來の會談により東部國境では兩委員會を設定する事にはソ側も同意したが、其他の國境では紛爭小委員會のみを設置し國境確定委員會を設置せぬのを適當と思ふ日本側の眞意如何」と問ひ之に對し有田外相は

一、東部國境はソ側の意向通り兩委員會設置の方針だ

一、東部以外の國境に就ては從來の日滿ソ間の交涉を繼續漸次東部國境と同樣の事態に導く必要がある

と我提案の主旨を說明した、仍つてユレネフ大使は本國政府に右主旨を傳達すべき旨を答へたがソ聯側の回答案は既に調成されて居る模樣であるからユレネフ大使の公電到着を待ちモスクワ政府は近日中に我方に對し公式回答を提示國境委員會交涉は再び軌道に復するものと見られる

關稅引上案に 外務當局贊意を表明
相手國を刺戟する懸念なし

【東京國通】大藏省は明年度の增收計畫に於て關稅引上を企てゝゐるが、之に對し對外通商關係上最も深き影響を有する外務省通商當局も關稅調查會幹事會を通じて贊成の意を表明してゐるやうである、即ち今回の大藏省側の案は現行關稅定率法が從來局部的改正のみを行つてゐた爲甚だ亂雜であり間に合せ主義に終始してゐるのでこれを整理することを主眼とし、從つて關稅引上の程度も極力輕重なからしめやうとしてゐるからである、殊に關稅引上の影響として重大なのはその相手國に與へる刺戟如何であるが、此點に就て外務當局は

それは平時の國際關係に於ては充分考慮しなければならないが現在日本商品に加へつゝある各國の輸入防遏的措置が悉く當該國貿易尻調整又は當該國若しくは宗主權を有する第三國の產業保護から出發し日本商品の世界市場に對する公正妥當な進出を頭から否定する態度を以て既に關稅引上、輸入制限等凡有る方法を實施し盡してゐるので日本側が多少の關稅引上げを行つても相手國が之に刺戟されて報復的處置を講ずることは萬あるまい、假令あつたとしても懸念する程度のものではないだらうと見てゐる

萬國博覽會 財源問題解決
國庫及び公共團体より補助

【東京國通】紀元二千六百年記念の萬國博覽會入場券問題に就ては商工省の割增金附前賣入場券に就て內務省が強硬に反對を唱へ行惱み狀態にあつたが、その後兩省間に交涉を進めた結果、大體兩省の意向も明かになつたので、廿五日の閣議に之を正式に附議し、左の如く國庫及公共團體より之を補助し、若し財源に不足する場合は適當なる方法により割增金附入場券を發行する事との折衷案を決定し具體的方策に就ては今後大藏、商工、內務三省間に協議を進める事となつた

一、主催者は東京市其他關係團體を以て組織する日本萬國博覽會協會とし、政府は之に對し指導監督援助すること

二、本博覽會財源に關しては國庫及び關係團體より之を援助するの外已むを得ざる場合は適當の割增附前賣入場券發行の方法によること

榮前中銀總裁 參議に特任

【東京國通】參議府參議は一名缺員中の處二十六日左の通り前中銀總裁榮厚氏が仰付られた、特任式は二十七日午前十一時宮中に於いて行はせらる

特任參議府參議　榮厚

停職中の陸軍軍人 居住を制限

【東京國通】廿五日の閣議で陸軍將校分限令中改正の件を決定したがこれは停職處分を受けたる者の居住を制限する樣改正したものである

拓務省、新京に 常設出張所を新設

【東京國通】滿洲の大量移民計畫に就ては廣田內閣の重要國策の一として拓務省を中心に滿洲國、陸軍省、關東軍の間に種々研究を重ねた結果、大體關係當局の意見一致を見るに至つたので愈々明年度より廿ヶ年百萬戶五百萬人移民の第一步を踏み出す事となり拓務省では之が計畫指導、實行機關として滿洲移民局の新設、滿拓の五千萬圓增資等に就き研究準備を進めて居るが更に新設移民局と移民會社及び滿洲國間の連絡及び移民監督に萬全を期する爲今回新京に常設出張所を新設し、書記官一名を常駐せしめる事となり、所要豫算に就て大藏省と折衝の結果大體諒解を得たので明春四、五月より實施の豫定である

皆川總務司長着京

文教部總務司長に就任した前錦州省總務廳長皆川豐治氏は廿六日午前七時新京着列車で文教部關係者の出迎へを受けて着京、直ちにヤマトホテルに入つた、氏をホテルに訪へば

何分着いたばかりでどんな話をしていゝか判らぬ、文教の府は全くの素人でこれから事情を聽取した上大いに勉強したいと思つてゐる

と語つた

閣議決定人事

【東京國通】二十五日閣議決定人事

總領事　澤田廉藏
總領事　村井倉松
陞叙高等官一等

大藏男來京

北滿の移民調查の途にある大藏公望男は今朝來京ヤマトホテルに投宿したが、一兩日滯在の上北行の豫定である

臺灣拓殖 設立委員會

【東京國通】臺灣拓殖會社設立委員會は前日に引續き廿五日丸の內東京會館に於て開催結城特別委員長より前日の特別委員會の經過報告あつて後議事に入つたが定欵設立趣意書、事業目論表、收支豫算表並に株式公募に關する事項とも原案通り可決された、尙創立總會は十一月廿日開催の豫定なるため後日右總會直前に特別委員會を再開し右附議事項を協議決定することゝし正午散會した、而して同社は委員會の決議に基き株式公募其他諸般の準備を進め來る十二月一日業務開始の豫定である

設立要項左の如し

一、目的　本會社は各種の拓殖資金の供給をなすを以て目的とす

一、資本金　本會社の資本總額は金三千萬圓とす、これを六十萬株に分ち一株の金額を金五十圓とす、本會社の資本金は政府の認可を受け增加することを得るものとす

一、拂込み　資本金出資者は政府及び民間とし政府は臺灣に於ける官有地中價格千五百萬圓に相當するものを現物出資す民間出資の株式第一回拂込みを四分の一とす、資金の需要に應じ拂込を徵收するものとす

一、事業概要
(イ)土地經營、乾拓及び開墾事業
(ロ)栽培事業
(ハ)農業移民事業
(ニ)拓殖資金の供給
(ホ)外國に於ける諸事業

人事往來

▲大藏公望男(貴族院議員)二十五日午前七時三十五分來京
▲呂榮寰氏(民政部大臣)同七時安東へ
▲熙洽氏(宮內府大臣)同八時三十分吉林へ
▲內田五郎氏(チチハル領事)二十六日午前國都ホテル
▲友國久吉氏(運輸業)同
▲大石才次郎氏(貿易商)二十五日午後ハルビンへ
▲小山令之氏(辯護士)同
▲松田省三氏(滿洲棉花協會)同奉天へ
▲中川久之助氏(電氣會社)同大連へ
▲松村雄吉氏(松村組社長)同ハルビンへ
▲宮城正一氏(營口商業銀行常務董事)同營口へ
▲綿織足喜代氏(東亞勸業重役)同奉天へ
▲淸川雅衛氏(會社員)同ハルビンへ
▲森喜代八氏(日本鋼管會社)同
▲粟生哲夫氏(杉山製作所)同國都ホテル
▲丸川順助氏(協和會員)同
▲西田善藏氏(古川電氣大連支店長)同
▲桑原利英氏(滿鐵)同
▲西畑正倫氏(同)同
▲鈴木啓正氏(鐵工業)同
▲加藤一郎氏(電業社員)同
▲挾間富貴氏(同)同
▲三島通陽子(貴族院議員)同
▲北竹淸吾氏(工業)同
▲川本國吉氏(滿鐵)同協和旅館
▲折橋平一氏(農業)同京都旅館
▲富田義平氏(滿洲國官吏)同
▲久間儀作氏(土木請負業)同吉田屋旅館
▲荒川隆二氏(日本パルプ會社員)同國際ホテル
▲庄子誠一氏(請負業)同
▲伊能源太郎氏(滿鐵)同
▲岡崎三二氏(鐵路局員)同
▲田村俊次郎氏(商業)同旭ホテル
▲本虎松之助氏(同)同
▲米谷由大郎氏(會社員)同
▲長村龍藏氏(福岡商業教諭)同
▲備本田正氏(鐵路局員)同
▲淸水外雄氏(滿鐵)同滿蒙旅館
▲大國長喜氏(滿洲國官吏)同向陽ホテル
▲西川國一氏(出版業)同
▲增田廣氏(會社員)同太陽ホテル
▲吉田信太郎氏(同)同
▲關井衛吉氏(商業)同
▲坂元惠武氏(會社員)同富士屋旅館
▲小阪觀逸氏(官吏)同梅屋旅館
▲荒井勝弘氏(滿鐵)同
▲大道義行氏(官吏)同大和新館
▲勝野敏夫氏(同)同
▲太田忠氏(音樂家)同ヤマトホテル
▲江口隆哉氏(舞踊家)同
▲關貫史氏(音樂家)同
▲內藤資忠氏(官吏)同
▲佐々本孝三郎氏(奉天興信所長)同
▲宮下靜一郎氏(林業)同

團體

▲司法部警察官訓練所生五十名 二十五日午前八時五十分大連より
▲福井縣福井商業生六十名同午後二時四十分奉天へ
▲函館市會議員八名 午後二時四十分大連より着京豫定

その日〱

支那の排日募り邦人四名襲はれ行方不明、重傷者を出す領事館再開を前に

□

而かも蔣介石は手をかえ、品をかえ、反滿、抗日を策す解決は一日早きが双方の利

□

滿ソ國境委員會交涉、軌條に乘りそう、解決してもよしせぬでもよし

□

歐洲の形勢が不利に向へば日本に笑顏つてなのはそうく〱受け入れられぬワイ

□

新京朝鮮人民會協和會分會を結成、可否については兎角の論がある由……

乳房ある悲み（百四十三）

亡靈（五）

中西伊之助
武久 [illegible]

が、萬里子はそれをさうしてもこの二人に打ち明けることができなかつた。もしそれを打ち明けた場合、一切の秘密が暴露するのである。殊に自分に深い同情をもつてくれる玉汝がどんなに驚くか知れない、萬里子は、玉汝がまだ彼女自身の秘密を知つてはゐないと思つてゐるからであつた。そして萬里子はさびしさうに答へた。

『ほんたう？萬里さん、ほんとうにさうなの？……』

喬と玉汝は、萬里子の肩へ手をかけんばかりにしてきいた。華代子の指圖で萬里子を喬に結婚させることにしたことをきいて、華代子の殘忍さを憎んだ、そして壻から萬里子に愛人のあるやうな話をきいたので、彼女の意中をたしかめて力になつてやるために喬の家につれて來たのである。が、萬里子がそれを否定するさ、二人は半信半疑になつた。

『では、あなたはやつぱり齊さんと結婚する氣なの？……』

玉汝はきいた。

『いゝえ、私、いやですわ』

萬里子は憂鬱に答へた。

『それであなた、おばさまにそれをはつきり仰有つて？』

『まだいはないのよ……』

『どうしてですの、きつぱりさういへばいゝぢやないの……』

『でも、私はさういへば、父が困るんですもの』

『どうしてですの？結婚問題なんてものは當人本位ぢやないの、それくらゐのことはあなた、分つてゐるでせう？』

『それは分つてゐるわ、でも今お母さまに反對するさ父は困るんだつていつてゐますのよ』

萬里子はそれだけいつて、金のことはかくしてゐた。

『君はだめだよ、そんなことをいつてゐて君は心にもない結婚をして一生涯を滅茶苦茶にしてしまふんだぜ』

喬がさういふと、彼女は默つて瞼を拭いた。華代子や父の前ではかなり强いことをいつたが、それから後は何かしらさびしく悲しくて、心が濡紙のやうに弱くなつてゐた。彼女は淺吉に焦がれ切つてゐながら、力强く進んで自分の運命を切り開かうとはしなかつた。できなかつた。と、暫く默つてゐた喬は

『では打ち明けるが、君も知つてゐる通り、玉汝も今度の結婚は反對なんでね、實は玉汝はもし結婚するならば一宮君と結婚したいといつてゐるんだ、僕はそれには大賛成でね、大いに努力するつもりでゐるんだ。先方はどういふか知らないが、とにかく今日ここへ來る筈になつてゐるんだ……で君も意中の人があれば打ち明けて貰つて、僕等は及ばずながら努力するつもりでゐたんだが……まるで僕の家は自由結婚媒介所みたいだがね、へ、へ、へ、へ、』

と笑つた。

『私、結婚なんかするつもりはなかつたのよ、でもね、どうせ親達から結婚させられるなら、私、自分の思つた通りのことをしたいわ、でも、私決して赤ん坊なんか生まない覺悟をしてゐるの……』

玉汝はまじめていつた。

『は、は、は、さうもいかんさ、しかし、兄貴はどうして榊原みたいな奴をあゝ信用してゐるのか僕には全く解らないね、あの男の性格は兄弟でも分らないな』

『おばさまの指金だつてことは分つてゐるぢやないの』

協和會全面的統制近し

附屬地居住者を一丸 大分會を結成す

昨日の準備委員會で決定

滿洲帝國協和會首都本部附屬地民間分會結成準備委員會は二十五日午前十時から滿鐵綜合事務所二階會議室で開催された

出席者は得丸地委副議長、小松聯合町內會長以下各町內會正副會長、朝鮮人民會代表、商務會代表等二十餘名で種々協議の結果附屬地既成特殊分會を解消し附屬地內居住者を打つて一丸とした分會を結成すべしといふに意見一致し十二時過ぎ散會した、なほ當日準備委員會で決定した事項は近く開かれる首都本部委員會に諮つて分會結成の段取りとなるものと見られる

朝鮮人民會で協和會分會結成

廿七日民會會議室で

二十七日午後二時から朝日通り新京朝鮮人民會々議室で滿洲帝國協和會新京朝鮮人民會分會設立協議會が開かれる世話役として谷哲夫、朴準秉、朴春燮の三氏が當り準備委員七十三名を推擧、當日は軍および協和會首都本部からも列席、左の諸件を上程する

一、分會章程作成の件

二、協和會綱領 工作方針及分會工作要目を各分會員に周知徹底せしむるの件

三、分會役員選定に關する件

四、分會結成式擧行に關する件

五、分會員宣誓に關する件

振東塾入塾の滿洲國少年 六名日本へ!

出發前日滿機關に挨拶

東京市杉並區に在る振東塾では豫て滿洲國の青少年中より優秀なる者を選拔して東京に遊學せしめ之を指導教育して滿洲國將來の中堅分子たらしめると共に、日本及び日本人に對する正しき理解を得せしめ日滿融和の楔たらしむべく計畫し其の第一回留學生を滿洲國各方面に物色中であつたが此の程有力なる推薦と嚴重なる詮衡とに依り左の六名を決定、二十七日午前九時新京發大連經由で東京に出發させる事となつた

穆 瑞 璡(十六才)鐵路愛護少年隊より選拔

王 積 祿(十六才)双城縣蛸井參事官推薦

高 雲 山(十六才)同上

介 啓 英(二〇才)河村本部隊推薦

センターン(蒙古)南警備軍神奈川少佐推薦

ソーキンレウ(蒙古)同上

尙一行は出發に先立ち廿五日新京に集合の上廿六日打揃つて關東軍司令部、國務院始め日滿各機關を訪問挨拶をなした(寫眞は大達廳長訪問の一行)

日滿各機關に慰問と挨拶

=來京第二日の日本少年團=

在滿皇軍慰問並に見學のため來京した東京聯合少年團皇軍慰問派遣團名譽團長三島子爵、米本團長以下團員三十二名は二十六日午前九時關東軍司令部を訪問原高級副官を通して慰問の辭を述べ大使館にて守屋參事官、關東局武部總長、憲兵隊司令部藤江總務部長等に面接慰問の言葉を述べ、更に地方事務所に武田所長を訪問慰問をなし次で張外交部大臣、阮文教部大臣を訪問してそれぞれ挨拶を述べ午後は新京警備隊、新京衛戍病院を訪問懇ろに慰問をなし午後六時から日本少年團、滿洲童子團主催の中央飯店に於ける歡迎晩餐會に出席する豫定である

交代部隊長歡迎宴開催

新京總領事館、特別市公署、滿鐵地方事務所主催在京交代部隊長歡迎宴は二十八日午後六時三十分から新京ヤマトホテルに於て開催されるが會費五圓希望者は地方事務所庶務係へ申込まれたいと

第一回建國野球大會前記 (完)

本年度最後の國都野球大繪卷

新京クラブ監督 源川榮二

以上全滿十三チームの概略を終つたが之を總括して見る時優勝候補の第一線とも目すべきは大連實、滿鐵チームで此の兩者の中何れかゞ優勝する事は大體間違ひはなからう、次に第二線としては奉天滿俱、滿洲國、電々の三チームで前兩者は堂々戰をいどみ得る實力を有し大物喰としては安東四平街兩チームで實力未知數があるだけに決して油斷はならない、此の意義ある第一回建國大會に奉天實業の內地遠征のため不參加は一沫の汚點を殘したものとして甚だ遺憾に堪へないが殘る十二チームに依り繰り展げられる野球の大繪卷は滿洲球界の一名物として永く吾人の腦裡に殘されるであらう加ふるに今大會は本年度最後の大試合であり滿都ファンの血をいやが上にも沸き立たせ野球の醍醐味を充分滿喫せしめる事と思ふ、最後に此の意義ある歷史的第一回建國野球大會の盛大に而して末永く發展せん事を祈つて此の項を終る事とする

新制度量衡を十月末日實施

九月一日から新舊の轉換 韓市長一般に佈告

新制度量衡器の實施につき新京特別市長韓雲階氏は本月廿日附を以て左の通り佈告した

佈告

度量衡法は康德元年三月一日より實施せられたるも即時實行容易ならざる事情並に經濟上影響あることを考慮し、同附則第二十六條及第二十八條に五ケ年の猶豫期間を規定し、此の間を新制度量衡の習熟馴致の期間として五ケ年後に於ける圓滑なる法の運用を圖らんことを期せり、而して新制度量衡法施行以來既に二ケ年有半を經過し本市に於ては權度局の宣傳と相俟ちて數次の宣傳其他懇談會研究會等の方法に依り極力其の普及に努めたる結果、商民は大體新品使用の便益なるを了知するに至り之が實施の機運昂りて一時實施期日等の決定迄見たるも、滿洲計器公司の器物準備遲延の爲め止むなく之が實施も延期と成りたる處、今般新京市商會を中心とし市內各同業公會の決議に依りて目下計器公司に於て準備未完了の職秤及木製圓墻形枡を除きたる新制度量衡器に付來る九月一日より十月三十一日迄の期間を以て轉換期と定め右期間內に於て新舊器物の轉換を完了し十月三十一日より全市一齊に之が實施を期することとなりたるに付、商民一體に右事情を了解すると共に之が新舊度量衡器の轉換並に新制器物の使用實施に遺憾なからんことを期すべし、右佈告す

康德三年八月二十日

新京特別市長韓雲階

スワ火事! 學校は總動員

今朝室町小學校の火災訓練

二十六日午前十時五十分新京室町公學校の理科準備室より發火、火勢はまさに同天井に燃へ移らんとしてゐるを逸早く發見した同校訓導の通報により非常警鐘は全校に亂打された『スワ火事』だと上を下への混亂の中にも平素の訓練よろしく消火係、生徒避難係、整理係、非常持出係等それぞれの持場を冷靜に處理活動の結果漸く大事に至らず消し止めることを得た……これは同校が不時に實施した想定非常訓練で全校生徒が非常時に際し秩序を保ち、靜肅に且敏速に行動すべき訓練とこんな場合の處置、態度方法を會得せしめるためのものである、終つて大隅校長の訓話があり最後に消火器使用の實演をなし多大の收穫をおさめて正午終了した

今秋實施

全滿鐵道の新ダイヤ

【奉天國通】躍進滿洲國の實情に對應する滿鐵、國鐵の全滿鐵道ダイヤは來る十月一日より實施の豫定であるが、準備の都合で既報のダイヤは左の如く變更された

一、京濱線と滿鐵本線を結ぶハルビン、大連間の旅客激增に備へて現行の特急あじあのほかに急行二列車、普通一列車を直通運轉する

一、新京、羅津間に急行一列車を新設、新京、濟津間直通列車のスピードアップを行ふ

一、滿支直通列車を增發二往復す、但し新增發列車問題は未だ正式決定を見るに至らず目下折衝中である

一、奉吉、平齊、京白、齊北、濱洲、濱北、濱綏、錦承、圖佳線各線に至り亘通乃至ローカル列車を增發、スピードアップを行ふ

▲ハルビン=大連間

第十五列車(下り急行)
大連發 二十時
奉天着 二時
新京着 七時十分
ハルビン着 十二時

第十六列車(上り急行)
ハルビン發 十六時十分
新京着 二十時卅五分
奉天着 一時五十五分
大連着 八時五十分

第十七列車(下り急行)
大連發 十六時四十五分
奉天着 廿二時五十分
新京着 六時
ハルビン 十時四十分

第十八列車(上り急行)
ハルビン發 十八時十分
新京着 廿二時四十五分
奉天着 七時二十分
大連着 十三時三十分

但し第十七、十八兩列車は奉天—新京間は普通列車扱ひ

第十九列車(下り普通)
大連發 廿一時
奉天着 六時四十五分
新京着 十四時
ハルビン着 十九時五十分

第二十列車(上り普通)
ハルビン發 十八時
新京着 廿一時十五分
奉天着 十五時二十分
大連着 九時五十五分

▲新京=羅津間

第二百十一列車(下り急行)
新京發 七時四十分
圖們着 十七時五分
羅津着 廿一時(朝鮮時間)

第二百十二列車(上り急行)
羅津發 六時五十分
圖們着 十時廿五分(朝鮮時間)
新京着 二十時四十五分

●新京=濟津間

第二百一列車
新京發 廿一時十分
濟津着 十四時三十分

第二百二列車 (朝鮮時間)
濟津發 十三時廿五分(朝鮮時間)
新京着 八時四十分

▲奉天=チチハル間

第三十九列車
奉天發 十九時
四平街着 廿三時四十分
チチハル着 十二時十分

第四十列車
チチハル發 十五時五十分
四平着 六時十分
奉天着 十時五十分

▲四平街=チチハル間

第八百三列車(下り、新設)
四平街發 七時
チチハル着 十八時五分

第八百四列車(上り、新設)
チチハル發 七時
四平街着 十八時

▲ハルビン=滿洲里間

歐亞連絡第七百一列車
ハルビン着 十四時三十分
滿洲里着 十六時五分(翌日)

同第七百二列車
滿洲里發 十四時三十分
ハルビン着 十五時(翌日)

▲滿支直通

第四百一列車(下り急行)
奉天發 十四時四十分
山海關着 廿二時
天津着 六時卅五分
北平着 九時四十五分

第四百二列車(上り急行)
北平發 二十時十五分
天津着 零時五分
山海關着 七時四十分
奉天着 十五時三十分

尙は特急あじあ、はと、ひかりの時刻は變更されないが奉天、釜山間ひかりは關釜連絡快速船就航及び釜山、京城間超特急の新設に伴ひ下り第七列車は釜山を廿分遲發、上り第八列車は奉天發午後十時四十分となる筈、朝鮮側の要望するのぞみのハルビンへの直通は來年度に延期される事となつた

大同公園前にヤマトホテル別館を新築

總工費三百萬圓三ヶ年計畫

滿洲國の發展に伴ひ政治の中心地としての國都を訪れる旅客の數は俄かに增大し、之と同時に國都旅館の收容力の貧弱が漸く問題となりつゝあり政治の一大中心地としての國都の將來に鑑み殊に四年後のオリムピック東京開催を期し日本及び滿洲への觀光客の殺到を控へ國都一流旅館は孰れも新增築を企てつゝあるが、國都第一流新京ヤマトホテルでは、現在の設備では到底旅客の要求を滿たし得ないので新に別館として大同公園前の廣場に八千坪の土地を買收總工費三百萬圓の新樣式一大ホテルを新築すべく計畫中であるが豫定通り進めば竣工迄三ヶ年の豫定であるから四年後の東京オリムピックには十分間に合ふといふもの

匕首を出し脅す男捕はる

前科七犯の强か者

原籍廣島縣雙三郡人大村、新京吉野町一丁目廿番地ノ二大下八郎方太田事無職山田淸春(三九)は京城で賭博、傷害で前科七犯の强かもので本年七月ごろ京城にゐたゝまらず東京しその後新京でも仕事はなし新京の惡徒の親分にでもなつてやれと遊び人の仲間入りし變ないんねんをつけては啖呵を切り短刀を突きつけるなど始末におへなかつたが二十五日午後零時ごろ吉野町一丁目某商店には入り込んで匕首を懐に忍ばせて凄文句を並べ脅迫してゐるところを急報に接した成松刑事が有無を言はせず逮捕した、新京署ではかゝるゴロは一歩も國都に入れぬ意氣込みで嚴重取締つてゐる矢先のことゝて嚴重處分せられる模樣である

祭禮の相談

日本橋町內會

秋祭り近く各町內會では今から寄りぐ各種催物について準備を始め出したが、日本橋區では二十五日午後七時から公會堂で役員會を開催し今年は假裝行列及び新造の子供神輿の渡御を行ふ事となつた

商業旅行報告會

新京商業學校では二十七日午後一時から同校講堂で夏期休暇を利用して各地に旅行を試みた職員生徒をもつて旅行報告會を開催することゝなつた

横山前副所長設宴

滿鐵天津事務所へ轉任の新京地方事務所前副所長横山軍起氏は二十五日午後六時半から滿鐵關係記者を招いて別離の盛宴を張つたが同氏は三十一日午前九時發はとで出發する

鄰の妻女の機轉で

泥棒捕へらる

二十三日午前四時半ごろ新京驛運輸所勤務露月町二丁目四十號ノ十伊藤鹽雄(二五)氏妻みきわ(二一)さんは階下鹽塚淺次郎方留守宅の窓硝子を破壞する物音に目を覺まし階下に降りてじつと內を窺つてみると滿人大男がゐるのが見えたがまだ隣近所起出でゐるものがないので機轉をきかし泉町派出所に訴へ出で警官を案內して戾つて來ると泥棒は鹽塚方で悠々と簞笥、戸棚押入を引繰り返し洋服、置時計、貯金通帳、その他目星しいものを取りこんでゐたところを取押へたがみきわさんの機敏な行動は係員を感激させた、なほ同夫人は先月二十五六日ごろも露月町一帶の滿鐵社宅を荒した十七、八歲のコソ泥棒を發見し消費組合前まで尾行して通行人の應援を得て捕へて派出所へつき出したこともあり派出所員を始め隣り近所の住民から賞讃されてゐる

江口 宮兩氏 舞踊盛會

滿鐵音樂會主催本社後援の江口隆哉、宮操子の舞踊公演會は廿五日午後七時半から新京記念公會堂で開催されたがさすが歐洲舞踊界を風靡しただけあつて「習作」「手術室」「ラインランド風景」「憬憬より悟道へ」「若き日」等々クラシックバレーの形式美を全然止揚して獨創的にして淸新な感覺と知的內容の豐かさに觀衆を魅了アンコールにつぐアンコールの絶讃を博し盛況裡に午後九時五十分終了した、尙兩氏は二十六日午前九時三十五分發列車で四平街に向つたが途中撫順、安東朝鮮を經て九月八日頃までに東京へ歸る豫定である

あす(廿七日)

▲司法部日本留學生出發、午前七時

▲滿洲油化工業創立總會、中銀クラブ

▲通俗ラヂオ講習會、午後一時—三時、放送局

▲ライカ作品展第二日 午前十時—午後五時、公會堂

▲交通會社遊覽バス試乘申込締切(豐樂路一〇一新京交通會社總務課宛)

今晩の主なる演藝放送

▲七・〇〇義太夫(大阪)竹本伊達太夫外▲七・三五ギター獨奏(東京)▲七・四五小唄(東京)市川三升外▲八・〇〇連續講談「柳澤昇進錄」(東京)神田伯龍

天氣と氣溫

明日の天氣 北寄の風晴 一時曇

日の出 前 四時五五分

日の入 後 六時二四分

月の出 後 二時四七分

月の入 後 十一時四二分

けふの氣溫 最高 二六度八 最低 一七度一

えんげい

仙人掌

軍首腦部異動の頃日本へ歸つてゐた新京會館の小林孃がまた歸復しました、内地での榮養が良かつたもか「二貫目は殖えたのよ」と自分で公言してゐます「ぢやん／＼お相手致しますわ」と言ふことです

から古い馴染の方々におしらせして置きます▲割烹新京にござる陽子さんはこの程名古屋ホテルから燒け出されてこゝへ轉じたのです、相變らず御愛嬌ものです▲こゝの靜子身體は小さいがどうして客の取り扱ひは堂に入つたものであります

〃涙の名畫大會〃

廿九 三十兩日公會堂

夏枯れ時の特輯興行として先頃非常な好評を博した「怪談映畫大會」の後をうけて今度は「涙の名畫大會」と銘打つて五味國男、二葉菊子他の實演を加へた左記プロによる特輯興行が來る二十九、三十兩日晝夜に亘り記念公會堂において開催されることになつた料金は三十錢均一、解説者は特に大連より來演、昔懷しい解説者全盛時代を偲ばうといふ趣向である

一、柳川春葉作「生さぬ仲」筑前琵琶南條旭紅孃演奏
二、山本有三作「嬰兒殺し」
三、兒童映畫「少年戰線」

▽實演—二葉菊子、五味國男、南條麗子、丘美智子、二葉マリ子、南條ミヨ子、星ルリ子出演

今秋開催される 映畫豪華版

映畫祭と文化映畫の夕

今秋は映畫による豪華な催し二つが豫定され、關係方面では着々準備を進めてゐる

◇

一は活動寫眞協會が計畫する滿洲事變記念の催しで、本年の九月十八日が丁度同事變勃發滿五周年に相當するため、全市映畫館に關係映畫を上映し、スローガンを掲ぐる外特に淺草興行街では獨特の記念興行を行ふべく腐心してゐる

◇

二は内務省、文部省、放送局後援、大日本映畫協會主催で十月全國的に催される官民合同の映畫祭で、當日は各社の文化映畫を常設館に上映せしめる一方 東京では日比谷公會堂に各社スターを動員しての〃文化映畫の夕〃を開き文化映畫の重要性を力説、一般國民の注意と鑑賞を求めようとしてゐる

日活の秋季十作

日活では重役會議の結果、秋季特作として左の十作を發表する事になつた

◇現代劇 渡邊監督、岡讓二主演『魂』伊賀山監督、山本禮三郎、小林重四郎主演『僕の東京地圖』阿部監督、小杉勇、市川春代、西條エリ子主演『戀愛と結婚の書』（結婚篇）熊谷監督小杉勇、黑田記代主演『蒼氓』渡邊監督、岡讓二主演『高橋是清』

◇時代劇 稻垣監督、前進座出演『股旅千一夜』尾崎監督、黑川彌太郎主演『鼠小僧唄祭』池田監督、大河内傳次郎、黑川彌太郎、入江たか子主演『栗山大膳』大河内傳次郎主演『丹下左膳完結篇』山中監督梶原金八原作脚色、岡讓二主演『題未定』

高田稔プロが 新興と再契約

高田稔を盟主とする高田プロは、新興キネマと正式に再契約を締結した、新興では高田側のため大泉撮影所内に新しいトーキー・ステーヂの建設を準備してゐる

なほ高田プロが製作の筈であつた吉川英治作『青空士官』は新興大泉田中監督が立松晃主演で製作と變更、高田は[illegible]家に次ぐ新作の脚本を選定中だとある

英國で映畫化

コナン・ドイルの三作

コナン・ドイルの探偵小說三篇が、今秋英國トウイケナム社で連續的にトーキー化される、第一回はドリイ・ハアス ハンス・ブラアム主演で『毒の帶』を撮り、次で『銀の焰』『テンパリイの家』を製作するといふから、ドイル・ファンは期待すべきであらう 一方例のチャーリー・チャンでお馴染のアール・デルビガースの作品も二十世紀フォックス社で盛んに映畫化され、ワーナー・オーランド主演『曲馬團殺人事件』『オペラ殺人事件』『艦隊のチャーリー・チャン』の三本が用意されてゐる、またコロムビア日本支社には名探偵ネロウルフの活躍と推理を描く本格的探偵映畫『完全犯罪』が入荷して居り、探偵映畫は依然として歐米の映畫界に獨特の地步と魅力を占めてゐる

東京發聲の 大文化映畫

三年計畫全百二十卷に及ぶ世

界空前の大文化映畫が日本で製作される、東京發聲では長橋總務總指揮、西尾佳雄監督主任となり產業交通『映畫日本地理』の關東篇より撮影を開始したが、これは產業交通を主體に日本現狀を三府四十三縣別に撮影編輯し、更に朝鮮、臺灣、北海道、樺太を併せて集成しようといふプランで完成の曉は各府縣の學務課を通じて全國各小學校に納入し、今後の地理教授に當つては必要欠くべからざる參考品となるであらうと期待されてゐる

撮影所だより

◇『一人息子』完成 松竹大船小津監督の第一回トーキー『一人息子』はSMSシステムの第一回作品でもあり非常に期待されてゐるが突貫小僧が馬に蹴られる月島の工場地帶ロケを最後に着手以來五ヶ月ぶりで漸くクランク完了、近く編輯、ダビングを行つて完成、九月中旬封切

◇『赤新聞』第一映畫、竹久新監督の『赤新聞』は左の配役で開始する、杉本一郎（夏川大二郎）妻さわ子、（花岡菊子）藤山義夫（武田一義）社長石田（葛木香一）記者樋口（原讓介）

▽▽航空十三時間△△

パラマウント映畫「輝ける百合」「名を失へる男」のフレッド・マクマレイと「若草物語」のジョン・ベネットの共演する映畫でミチェル・ライゼンの監督作品である、原作はボガート・ロヂャースがフランク・ミチェルテイジーと共作したもので、脚色には原作者ロジャースが擔つた、紐育—桑港間定期旅客飛行機に乘り込んだ寶石泥棒、殺人犯を繞つて、お互に疑心暗鬼の乘客の言動をとほして遂に假犯人逮捕に至るまでの戀と探偵的興味を盛り込んだ空中メロドラマ、出演者としてザス・ピッツ、ジョン・ハワード、アラン・バクスター等が出演、キャメラはテオドル・スパルクールの擔當、帝都キネマ廿九日封切、寫眞はフレッド・マクマレーとジョン・ベネット

雜音

「涙の名畫大會」といふのが公會堂で開催されるが、極く安いプロを組んでこれに實演を加へたのがミソであるが、映畫がどうのかうのといふより三十錢均一といふ料金がものを言ふ、ではあるが、かういふのは餘程心臟が強くないとやり切れんことである▼長春座は「世界大戰を語る」を軍人に無料開放した拔け目のない策戰、どちらにしても惡い事ではない▼陸軍省の「防空日本」が來月三日から長春座に掲る、P・C・Lの製作スタッフが力を入れてゐるからこれは十分に期待は持てやう、もういゝ加減なものは流行らなくなつた、普通商品映畫以上の鞏固な意識と組織的な企劃が必要である、「防空日本」に現はれたこの目的のための技術と効果とに就いてわれ／＼は十分に吟味をしてみたいと思ふ

木曜 辛巳 大安 收 斗宿　八月廿七日 舊七月十一日

●一白の人 一滴の玉の汗も一粒の米となる働甲斐あり巳と庚と辛が吉
●二黑の人 果報は寢て待てと焦らず英氣を養ふべき日乙と丙と壬が吉
●三碧の人 先走る時は躓きあり徐々と進むが安全なり巳と丙と壬が吉
●四綠の人 他より邪魔せらるゝ事あり交際に注意あれ巽と巳と壬が吉
●五黃の人 大望を企てず分に安んぜば相當の金儲あり乙と丙と丁が吉
●六白の人 實力本位に進むべし投機的の事は失敗あり丙と丁と壬が吉
●七赤の人 進んで失敗せんより退て安全を期すべき日乙と壬と癸が吉
●八白の人 喬木は風に搖られ易し根元の緩まぬ樣注意丙と丁と戊が吉
●九紫の人 驕慢備り家內圓滿の吉日溫和著實たるべし乙と丙と戊が吉

滿洲アルミ會社 來月中旬に設立

內地業者との折衝好轉を見て

滿洲アルミニウム會社設立計畫は當初內地當業者の反對から難産を豫想されてゐたが滿鐵の內地業者との數次に亘る折衝の結果事態は漸く好轉茲旬中に最後的決定をみることゝなつた模樣で創立委員會では工場建設設計も着々進められてをり來春より工事に着手來年一杯で竣工昭和十三年操業の豫定でその內容は左の如し

資本金二千五百萬圓の內五百萬圓は滿洲國政府が出資額一千萬圓を滿鐵が引受け殘一千萬圓を日本電工、日本アルミ、住友アルミ、日滿アルミ、日本曹達日糖アルミ等內地各社が引受けることになる模樣である尤も日本側では一千萬圓を消化し切れない場合には滿鐵が更にその殘額を引受ける筈で內地會社に於ても日本曹達日糖アルミの參加はなほ未定であるが前記四社の參加はほゞ確定的なものとみられるにいたつた

依つて滿鐵では近く株式引受けに關する最後折衝を行ひ設立認可を俟つて遲くとも來月中旬までには會社設立の運びをつけたい意向であるから曲折を重ねた滿洲アルミニウム會社も愈々最後の解決を見るものと豫想されてゐる

旅順工科大學內に 土木工學科を

土木學會より新設方請願

新興滿洲國は各部門に亘り建設發展工作の途上にあり特に滿洲國に於ては道路上下水道或ひは港灣河川護岸等幾多土木事業の完成を計る必要に迫られて居るにもかゝはらず技術者拂底と云ふ有樣で建國以來の滿洲は內地より多數の經驗者を送つて漸く間に合せては居るものゝ尙充分と云ひ難く滿洲國將來の發展より觀るも土木技術者養成の學校必要と云われ我國土木界に於ける最高の學術團體である社團法人土木學會では土木事業の完全なる遂行は技術者の養成にありとの見地から旅順工科大學內に土木工學科を設置すべきであると此の程廣田首相平生文相永田拓相其他關係官廳へ請願したと

土建ニュース

▲決定工事
▲河北碼頭棧橋增改築其他工事　●鐵路總局
落札　八萬九千三百圓　東亞土木
▲新京驛廢棄捨場修繕工事　●新京保線區
單獨　二百七十圓　村松組

▲新京驛旅客地下道排水溜桝修繕工事
特命　七十二圓　上木組
▲在滿大使館々員官舍煖房改造に伴ふ建築工事　●大使館
示談　九千四百八十圓　戶田組
第一回入札　第二回入札
九、八〇〇・〇〇　九、五〇〇・〇〇　戶田組
九、八〇〇・〇〇　九、七〇〇・〇〇　三田組
九、九八〇・〇〇　九、八八〇・〇〇　松本組
▲新京露月町三六外七棟塗裝鋪裝工事　●新京地方事務所
豫特　一千三百六十七圓六十二錢　門屋塗裝店
豫特　四百八十五圓三十三錢　吉川組
▲范家屯大弓場新設小學校增改築八二號冷藏庫撤去工事
落札　一萬六千八百圓　戶田組
一、九四〇・〇〇　伊賀原組
二〇、三五〇・〇〇　志岐土木
二一、九五〇・〇〇　池內市川組
▲奉天專賣公署煖房衞生並給汽裝置工事　●營繕需品局
豫告工事
本日入札の豫定なりしも現場說明の都合で二十九日か卅日入札される事となつた
▲吉林高等法院第二分院琿春地方庭前門其他改修工事
特命　一千一百十六圓

北鮮三港の 海、陸運送（二）

運賃の不利、關係鐵道

北鮮三港の距離關係は、羅津雄基より敦賀まで八八七粁、清津より同八七四粁となつて居り、大連敦賀間は一、六四九粁である、羅津、雄基より大阪までの距離は一、三九九粁、清津よりは一、三四七粁であり、大連よりは一、六二三粁となつてゐる、何れも大連に比し遙かに短縮されて居るのである

然し北鮮三港が日滿最捷路の門戶として利用されたるための基礎的條件の一を爲す船運賃は、大連對日本主要港間のそれに比し概ね高率で距離に於て優る得點が失はれてゐる今その主なるものを見ると大阪商船による場合、砂糖は千五百斤に付大阪より雄基、羅津まで八圓六〇錢　清津まで八圓であるが大連までは三圓である、一般雜貨では四〇錢につき大阪より雄基、羅津まで一〇圓、清津まで九圓であるが大連では七圓二〇錢である

×　×

北鮮三港の有力背後地は、言ふ迄もなく東、北滿であり之等地方に於ける鐵道網整備は圓滑なる海運と相俟つて、日滿最捷路の眞價を發揮せしめるのである

關係路線に就いて概說すれば左の如くである

京圖線（五三〇粁）

本線は國都新京と滿鮮國境の圖們を結び、更に北鮮鐵道に連絡して三港に至る東滿中央部を東西に橫斷する幹線で工事は三期に分れて行はれた、先づ吉長線（長春、吉林間）は、明治十二年滿鐵と支那郵傳部との間に締結された「吉長鐵道借款細目契約」に依り、二百五十萬圓を貸與し、翌四十三年起工し大正元年十月全線百三十粁が完成し、大正六年以降滿鐵が委任經營することになつた、次に吉敦線（吉林、敦化間）は、大正十四年滿鐵と支那政府交通部との間に締結された「吉敦鐵道建設請負契約」に基き、翌十五年六月起工、昭和三年十月二百十粁餘の全線を完成し、最後に敦圖線（敦化、圖們間）は、昭和七年五月起工、翌八年四月之を完成し同年九月一日より本營業を開始するに當り、以上三線は一括して京圖線と改稱、其の經營を滿鐵に委任されたのである

拉濱線（二七一・七粁）

本線は濱江（哈爾濱）を起點とし京圖線拉法に至る。濱江に於ては濱北線に接續し、又拉法に於ては京圖線に連絡して北滿と北鮮三港の關係を密接ならしめてゐる。昭和七年六月起工、翌八年十二月完成、本線の完成が舊北鐵に及ぼした政治的經濟的影響は極めて甚大なるものがあり、露國をして北鐵讓渡の提議を餘儀なくせしめた一因と觀られてゐる。

圖佳線（五五八・七粁）

本線は圖們を起點とし、東滿の穀倉地帶を南北に縱貫して佳木斯に至る昭和八年二月滿洲國より建國を委託された滿鐵では、同年六月著工し翌九年十二月濱綏線とのクロス點牡丹江迄二四八・七粁を完成し、第二期工事たる牡丹江、勃利間二〇〇粁も現在既に完成し、之より佳木斯に至る一一〇粁も敷設を終らんとし、又林口より密山に至る一八六粁及密山、虎林間一七〇粁の支線と相俟つて、國防上並に地方產業開發上極めて重要なる幹線をなしてゐる本線に就き最も期待されるところは、林虎沿線、牡丹江流域の農、林產、ウスリー江及興凱湖附近の林、鑛產、並に佳木斯を中心とする松花江流域の農產物が北鮮に出廻り、東滿無限の寶庫が開拓されることである

朝開線（六〇・六粁）

本線は京圖線の朝陽川より分岐し、間島省の要地たる龍井及圖們江岸の開山屯を經て對岸の上三峰に連絡し此處から清津に通じてゐる元天圖輕便鐵道と稱せられたものを、滿鐵が昭和八年七月標準軌道に改築すべく著工し、翌九年三月完了した。本線は所謂南廻線として會寧、富寧等を經て清津に至る距離即ち朝陽川、清津間一九六・六粁に對し、圖們、南陽、上三峰を經て清津に至る距離は二三五・九粁で、前者は三九・三粁短縮されて居るが、路線の不完全其他の理由に依り現在は餘り利用されてゐない

（未完）

▲新京第三小學校增築工事　●新京地方事務所
右開札　二十六日
▲東安街義和屯間調整地送水鐵管布設工事　●國都建設局
▲安民大路一部排水管布設工事
右開札　九月一日
▲奉天國立賽馬場增設給排水工事
右開札　三十一日
▲ハルビン賽馬場給水裝置工事
右開札　二十九日
▲宮內府禁衞步兵團營房其他移改築電氣工事
右工事も同樣廿八日なりしも九月一日
▲延吉法院便所新築及檢察廳改修工事
右工事は二十七日の豫定なりしも現場說明の都合にて二十九日に改定された

▲敦化乘務員指定宿泊所工事
落札　二萬七千九百圓　西松組
▲京圖線新京吉林間二ヶ所下驛架替其他工事（其の二）
落札　九千八百圓　福昌
▲京圖線新京吉林間三ヶ所下驛架替其他工事（其の三）
落札　八千二百圓　坂本組
▲寧安站給水柱排水設備
落札　一千八百九十圓　京城
▲牡丹江日人局宅附近下水敷設工事
落札　三千六百圓　松村組

（長春酒）

「牧畜と農業とは當然に結合されなければならぬ、日本の農業は動物との結び付が不充分である、動物と結合せずして農業はあり得ない、動物の飼養によつてのみ合理的な農業が可能である」▲向坂逸郎氏の北海道旅行報告中にある一牧場主の言葉である、滿洲に於ける農業の將來に就いて考へさせるものがある▲その感想風な結語には「しかしこの知識とこの理想とこの生活とが農村に一般化するには、日本農業は、すでに日本全體の餘り末世的な事情の中にまきこまれてゐる」とある、近代的農場と近代科學者の研究とを眺めていつも一抹の淋しさが殘つたといふのである、滿洲農村の現狀を觀察させたらいかに報告するだらうか？

商況欄

（八月廿六日前場）

海外經濟電報

各地株式市況

▲大連株式（短期）
▲奉天株式（短期）
▲東京株式（短期）
▲大阪株式（短期）
▲阪神日米爲替
▲阪神日英爲替
▲大連爲替
▲上海爲替

爲替相場

金銀市況

各地商品市況

▲大阪棉糸
▲大阪棉花
▲大阪人絹

各地特產市況

新京取引所市況（八月廿六日前場）（一石値段）

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 一ヶ月拾五錢 廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話【編輯局專用③三一二五 營業局專用③三一〇〇】
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 永遠内之介

國民政府に對して責任ある措置を要求

外交的重大問題として事態重視 外交當局の方針決定

【東京國通】四川省成都の邦人記者等四名の襲撃事件に關し二十六日早朝須磨南京總領事より外務省に公電があり同公電は南京に於る情報として極めて簡單に四川省成都大川旅館に滯在中の大毎記者渡邊洗三郎氏等邦人四名は二十四日午後六時頃支那人暴徒に襲撃され二名重傷、二名行衛不明となつたとあるのみで死亡者の姓名、その原因、背後關係等も一切不明なので外務省では詳報の到着を俟ち川越駐支大使に訓電を發し國民政府と交渉を行はしめる方針である

而して外務當局としては今回の邦人襲撃事件は日本國民に對する重大なる侮辱であると爲して極めて事態を重視し單なる地方的問題として取扱はず國民政府の責任を執るべき外交的重大問題として大局的見地より交渉を行ふ方針である

從つて外務省としては責任者の陳謝、處罰、犯人の逮捕嚴罰、將來の保障、賠償等外交上の定形的要求に滿足せず國民政府をして今回の事件が國民政府の眞意に基くものに非ざる所以を我が國民に明示せしめる如き具體的措置を執らしめ、國民政府をして日支提携に關する誠意を充分披瀝せしめる事に方針を決定してゐる

事態惡化せる排日都市成都

渡邊、深川兩記者 或ひは殺害されたか

【上海廿六日發國通】廿四日突發した成都事件は現地に日本側諜報機關なきため目下のところ尚ほ眞相判明するに至つてゐないが、行衛不明を傳へられる渡邊、深川兩記者は殺害されたものとの想像が一般に有力である

支那政府の不法態度 辯解の餘地なし

成都不詳事件 發生の經緯

【上海廿六日發國通】成都日本總領事館再開問題に絡んで國民政府當局は民衆を使嗾煽動し新任總領事代理岩井氏の成都入を極力妨害しつゝあり當地着報に依れば重慶、成都の中國紙は岩井總領事代理の上海出發以來筆を揃へて日本の成都總領事館再開が非法であり、國權侵害であり日本の對支侵略の現れであるとなし連日大々的に書きたてゝ居るが岩井總領事代理一行が十七日重慶に入るや翌十八日の重慶各紙は

日本非法在成都設領民衆憤拒

の主旨の上に岩井總領事代理の成都入り反對のため大民衆デモを敢行する旨報じた、又川康外交特派員吳澤沙氏は數回に亘り「外交部より何等の通知に接せず資格不明なる岩井總領事代理の會見を拒絶する」旨の談を發表し民衆の反對を煽つた、民衆デモは中止されたが市商會、同業公會婦女生活改進會等の民衆機關は十九日各界代表五百數十名は「日接成都領反對大會」を擧行し軍事委員長行營、市黨部、四川特別市公署、川康外交特派員辦事處を夫々訪問し

一、反對成都日本總領事館
一、岩井即日離川

支那人暴漢大擧して 旅館を襲撃暴行

＝成都不祥事件公電到着＝

【東京國通】成都に於ける邦人襲擊事件に關し糟谷重慶領事よりの公電が廿六日外務省に到着した右によれば廿五日四川省外交部視察專員吳澤沙氏は糟谷領事を訪問し成都事件の突發を報告して陳謝の意を表した、即ち大毎特派員渡邊洗三郎氏始め四名の日本人は四川省政府發給の内地執照を携行廿一日成都に入つて居たが廿四日成都に於ては反日設領大會が公園に於て開催され午後に入るや民衆の示威運動と化し同六時頃民衆團は一旦解散せんとしたが此時突如一團は日本人の旅舍たる大川旅館を襲擊した、その時支那側の巡捕は之を阻止せんとしたが大勢に抗し難く直に市公安局に報告したので公安局長自身現場に出張鎭撫に盡したが如何とも爲し難く遂に日本人二名は行方不明となり二名は負傷したので直に督辦公署に收容加療中である旨省政府當局よりの報告に接したので取敢へず事件を報告すると共に反日民衆團の暴行を深く遺憾とし深謝する旨申入れた、尚吳澤沙氏は四川省政府は既に此問題を外交部に報告し又省内各官憲に對しても日本人保護方嚴重訓令した旨を述べ日本側の諒解を求めた、糟谷領事は之に對し今回の邦人殺害事件の突發した事は極めて重大なる不祥事件で日本政府は此事件に對する一切の發言權を留保し特に此際は成都に於る反日事態の鎭靜方を嚴に要求警告するものである由を强調し會見を終つた

"遺憾に堪えぬ" 張外交部長語る

【南京廿六日發國通】成都の事件に關し張外交部長は左の如く語る

成都に滯在中の日本人四名の内二名重傷、二名行方不明との來電に驚いて居ます電文が簡單で詳細不明だが外交部では重慶から交渉員を飛行機で成都に急行せしめ目下調査中であるが遭難は確實であり實に遺憾に堪えぬ、今暫く次の來電を待たなければ何とも言へないが日支國交調整が漸く濃厚となりつゝある今日斯かる不祥事件が勃發したことは何とも申譯なく外交部としては非常に遺憾に堪えませぬ

陸、海、外三首腦 今後の對策を協議

【上海廿六日發國通】成都事件の重要性に鑑み喜多陸軍、佐藤海軍兩武官及び若杉上海總領事は廿六日午後會同し今後の具体策樹立に關し重要協議を行つた

一、堅持革命外交の三項を請願した上市内各處で街頭煽動演說を行つた、委員長行營、參謀長賀國光は請願代表に對し絕對妥協せずと强硬に言明して居る由でこれは要するに表面極めて曖昧な態度を示しつゝ盛んに國民の反日感情を煽り更に現地の黨部其他諸機關で民衆を煽動し嫌がらせをやらうと云ふ國民政府一流の陰險悪辣な策謀に依るものである、食料及び體の安全を保證せずとの外交部の不都合なる回答を押切つて岩井總領事代理は總領事館再開の重大な使命を全ふすべく飛行機で成都入を爲す筈であるが、既に中國側は飛行機切符の發賣を拒絕した爲に岩井總領事代理は目下重慶で立往生の已むなきに至つて居る、かゝる險惡なる情勢の下に岩井總領事代理に先立つて成都入りを强行した既報の邦人四名は果然暴徒の襲擊を蒙り遭難するに至つたもので蔣介石政權が西南問題解決の餘勢をかつて帝國の既得權益たる成都總領事館設置に對し愚民を煽動して斯かる事態を惹起せしめるに至つた事は帝國に對する一大侮辱で我出先當局の憤激は甚だしく中國側の出方如何に依つては重大結果を來すに至るやも知れず、成行は極めて注目されて居る

影佐中佐上海着

【上海廿六日發國通】本省の意向を現地に傳達し、現地情勢視察の使命を帶びて來支した影佐中佐は天津に於る武官會議を終へ廿六日午後二時着の青島丸で滿一年振りで來滬直ちに東和洋行に入つた、尚は同中佐は當地に二、三日滯在の上内地へ歸還の筈

青木對滿事務局次長 卅日はとで入京

重要問題に就き現地側と打合

青木對滿事務局次長は竹內殖産課長河村、三橋兩事務官帶同、卅日午後七時四十五分着京の筈であるが、氏は入京後關東局、軍、滿洲國、大使館滿鐵等關係方面との間に滿鐵の機構改革問題、治外法權撤廢に伴ふ司法警察權の移讓、産業監督權の移讓調整に伴ふ金融關係の諸問題、對滿移民問題等に就て打合せを爲す筈で氏の入京により之等の問題はより急速な具體化をみるべく各方面から期待されてゐる

滿鐵の招宴に列席

【大連國通】滿鐵では二十六日正午滿洲館に青木對滿事務局次長を招待して午餐會を開催、滿鐵側より松岡總裁、大村副總裁以下各重役、部長出席した、午餐會終了後松岡總裁は滿鐵の職制改正に關する大綱を說明して青木次長の諒解を求めたに對し、青木次長は今回の職制改正が極めて妥當適切である旨を答へ大體承認を與へたと信ぜられる、從つて職制改正は豫定通り認可の手續きを殘すのみとなつた

ソ聯騎兵廿騎 東部國境を越境 我監視隊に擊退さる

廿六日午前十一時半東寧東方ソ聯舊稅關跡にあるゲペウ屯所よりソ聯騎兵廿騎、國境の河を渡り烏蛇溝に越境し來りたるを發見した我監視隊は直ちに應戰滿洲國領土外に之を擊退し、敵の遺棄死體一を收容したが、ソ聯兵は更にポルタフカより重機關銃二を有する七十餘の騎馬兵を增加し、再び越境襲來せんとする形勢にあるので我軍は嚴重警戒中である、尚我方の損害は無かつた

"從來の態度一擲し 日支協調せよ" 芳澤代表胡適氏の論難を反駁

【ヨセミテ廿五日發國通】廿五日午前の太平洋會議は、日本代表部の要請に基き特別總會を招集我が代表芳澤謙吉氏は廿四日支那代表胡適氏が行つた日本外交政策の論難に對し痛烈なる辯駁を加へ左の如く述べた

胡適氏は支那の現狀は日本に責任ありと言はれたが之は見當違ひも甚しい、支那の復興統一が遲れて居るのは支那自身の國內的事情主として內亂に基くもので日本が妨害をしたのでは決してない、一九二二年の華府會議に於て支那に關する九ヶ國條約が締結されるや、日本は常に指導的立場に於て支那の領土保全のため努力した、然るに支那は其の後關稅引上げを行ひ、日本貿易に不當な壓迫を加へると共に一九〇五年の議定書に依つて（滿洲に關する館約交渉會議錄中の日支諒解事項）禁止された南滿洲鐵道併行線の敷設に着手する外、相次いで日本に對する條約上の義務を蹂躪し更に在支日本人の生命財產權益に不當な壓迫を加へる等支那の不信行爲は枚擧に遑がない、一九三一年の滿洲事變は實に以上の如き支那の非友誼的行爲の累積に外ならない、日本は其の地理的並に人種的關係に依り常に支那の統一と復興を切望して居るのである、日支關係を打開する唯一の途は支那が從來の態度を一擲して日本と協調し兩國互に友好的態度を持するにある

人事往來

▲東條憲兵隊司令官 二十六日午後四平街より
▲由良重雄氏（會社員）同大連へ
▲若村松太郞氏（同）同ハルビンへ
▲田村一郞氏（拓務省官吏）同
▲宇津恭男氏（滿鐵）同來京 中央ホテル
▲神山隆男氏（同）同
▲藤原健一氏（同）同
▲道永建三氏（航空會社員）同
▲大原萬千百氏（地方委員會議長）哈爾濱に出張中のところ二十六日午後歸京

航空往來

▲米山辰夫氏（會社員）二十六日午後奉天へ
▲山田孝助氏（同）同
▲武下義晴氏（步兵大佐）同
▲根本藤夫氏（會社員）同
▲岩本大佐 同
▲綾部勝治氏（步兵中佐）同
▲刎牟慶太郞氏（航空兵大尉）同牡丹江へ
▲小池武雄氏（航空兵少佐）同
▲小笠原數雄氏（陸軍中將）同
▲阿部定氏（航空兵大佐）同
▲靑木武藏氏（步兵中佐）同
▲野副鶴吉氏（陸軍一等主計正）同
▲石村卓氏（工兵大尉）同
▲松本庄造氏 同吉林より
▲笠原敏郞氏（滿洲國官吏）同ハルビンより
▲水野正氏（滿航社員）同
▲大月桂氏 同林西より

偶語

新京〇〇隊は目下東邊道奥地剿匪工作に奮鬪をつゞけてゐる▲聞くところによれば同地方は山岳重疊たる要害を占めて蟠居せる匪賊二千▲加ふるに氣候不順にしてその苦鬪言語に絕するものがある▲こゝに於て一には感謝の意を表し一には將兵激勵の意味から慰問袋を送ることゝなつた▲この慰問袋は九月五日までに募集締切りを終り、思ひ出深い九・一八五周年記念の日に陣中の將兵を喜ばさうといふ主催者の心組みである▲從つてその內容は形式的或は申わけ的のものは廢して▲戰塵にまみれた勇士の頰をほころばすに足るものたとへば繪葉書 キヤラメル チヨコレート、罐詰類もよし▲更に喜ばれる少年少女の純眞な氣持ちを現はした慰問文を同封せばなほさらよろし▲この際おつきあひ乃至は申わけ的でなく眞に市民として感激の赤誠をこめた慰問袋の一つでも多く集まらんことを切望する

社説 統制經濟の問題 世界情勢への對處

一

資本主義的經濟體制の下に於いて、その上に立つて、一國の全經濟の管理を、國家權力の發動を强行することによつて國家の掌中に集中すること、これが國家資本主義の目的である。それは資本主義の組織化、社會化等とも呼ばれてゐるが、要するに資本主義的計畫經濟を主要内容とするものである。世界大戰直後の激しい動搖の時期を經過して來た各國の資本主義は、その後に來つた世界的恐慌によつて尖鋭化された國内的の矛盾、國際的な矛盾を克服するために、統制の方向に驅り立てられたのであつた。國民經濟のすべての管理を國家へ集中せしめるのには幾つもの場合が存した。

二

それには戰爭又は戰爭準備の目的をもつてなされたものが第一に擧げられる。歐洲大戰の經驗とそれ以後の科學の發達が、今後の戰爭は兵力戰だけでなく、國家の諸力を擧げての全體的決戰によつて決せられるとなす全體戰爭理論を生んだ。狹い意味での軍需工業のみならず、すべての産業の動員が要求される。全經濟の國權による管理はこゝに强化される。又この全體戰に對しては莫大な國費が必要であり、そのためには專賣、國營を强行し、金融機關に公債手持を强制すること等も行はれねばならぬ。

三

貿易又は爲替統督の目的をもつて國家の經濟管理が行はれる場合もある。世界恐慌以來の各國の經濟國民主義の對立は、各國に他國商品の進入を防ぐための高い障壁を築かせた。輸出の統制が、かゝる障壁を越えて自國商品を販賣するために必要とされる。外國の貿易對抗策に對して復仇手段を講じなければならぬ。これら貿易、爲替、金利等を調節して世界恐慌に對抗するために國家權力の經濟管理强化が行はれる。曾つて資本主義の初期に於いては、國家權力はその育成のために發動した。その上昇期に於いては、資本主義の自由な發達を妨ぐる障碍を排除するために發動した。いまや資本主義の必然的特質たる經濟の自由に對して强力な制限が加へられるのである。それには全體的共存共榮觀に立脚するといふことが高唱されるのを見る。全體主義の名のもとに、配當の制限を行つたり、國營化を計つたりするものである。それには社會の中小層の窮乏化といふ事實が考慮されてゐることが判る。しかしそれらを超えて、戰時統制體制への準備過程を進んでゐるのが現在の世界情勢である。この情勢に對處する方策が根幹となつてゐるとせねばならぬ。

滿洲國の無盡業法 九月早々公布 參議府會議の審議の運び

滿洲國では國内無盡業取締を統一する目的で無盡業法を制定九月早々參議府會議の諮詢を經て公布されるはずである

郷軍中銀分會 廿五日發會式

帝國在郷軍人會中銀分會發會に就ては豫てより清水庶務課長を準備委員長とし十六名の準備委員を擧げて準備中の所愈よ昨二十五日午後三時同行會議室に於て盛大に發會式を擧行した、當日陪賓として今村參謀副長、五十嵐新京聯合分會長、中野總領事代理、猪苗代署長、陶村少佐、田村聯合分會理事、植田市公署總務處長 市内各分會長出席 中銀側より田中總裁外各重役、課處長、分會員二百餘名出席分會長に森調査課長、分會副長に別所甫、河津六郎の兩氏幹事長に川田爲替副課長を推し結成を終り次で發會式に入り君が代を合唱し森分會長勅諭勅語を捧讀し今村參謀副長及五十嵐分會長の訓示、田中總裁、中野總領事代理、猪苗代署長、中島第五分會長の祝詞、郷軍歌を合唱一同記念撮影をなし續いて祝宴に移り今村參謀副長發聲にて天皇陛下萬歲、五十嵐聯合分會長發聲中銀分會萬歲を三唱し五時過ぎ意義ある發會式を終つた

八月中旬の建築材料商況

八月中旬に於ける新京の建築材料の商況を見るに金物類にありては本旬に入り亞鉛引鐵板二十六番二錢方昂騰波板は三十番六錢二十六番十二錢釘十錢方崩落他品は何れも保合ひながら洋灰は滿洲内の協定は本年中成立見込薄生産過剩は益々明瞭となり混亂相場出現懸念濃厚を加ふるに至れり中旬末相場を示せば左の如し

丸鐵（五分）百瓩 一二六〇
亞鉛引鐵板三〇番一枚 八三
〃 二八番〃 一〇七
〃 二六番〃 一三五
亞鉛引浪鐵板三〇番〃 七二
〃 二八番〃 八五
〃 二六番〃 一一二
鐵板、一分厚、百瓩 一四三一
釘、二吋、一樽、六十瓩 九二〇
針金、八番線 五十瓩 一四一
板硝子、二尺三尺、十七枚 八〇〇
洋灰、小野田 五十瓩 一四六
〃 大同 〃 一四五
ペイントA印 十二瓩半 一四六五

讀者の領分（投稿歡迎 中傷不可）

言語に就いて 松武生

鐵路沿線や日滿人雜居の市街地には、兩國の片言雙句が一種の通用語となつて、面白き日滿混合語が成立し旺んに對話されてゐる、双方僅かの單語で或る程度の意思表示が出來るのだから甚だ結構である、兎角民族の協和は意思の融和にあり意思の融和を圖るには會話の心要がある、向後歲月を重ね彼我の接觸ますます加はるに伴ない、この種用語が地方一般へも派及し、知らずく國益に資するところ大ならんか

想ふに會話の普及は、今日最も急務であると同時に、國策上邦人の滿洲語を會得するより以上に滿人をして日本語に據らしめなければならぬところが幸にも昨今滿洲國民の日本語研究熱は日と共に勃興しつゝあり、吾人は須らくこの好機に乘じ彼等の慾求に順應すべきではあるまいか

凡そ國家の發展は國語の普及にありとの金言に照らし、苟も日滿不可分の關係に想到して國家百年の大計を圖るには、將來日滿語の統一を目標に善處することこそ最も肝要であらう

往年帝政ロシヤの跋扈時代は、自國語を以て强いて一般民衆へ對處せるため、露人の住するところ支那人をして露語を解せざるもの稀であると云つてもよい位であつた、國語は國家的一種の誇りであり亦國家發展の基であることは申すまでもない

滿鐵經營の公學堂に於ける滿人子弟の教育方針即ち兒童より日語を稿き込むのは、双手を擧げて賛意を表すると共に、一般民衆への日語速成には、滿語を以て解釋し得る邦人が、日滿官憲了解の下に隨所に開設されんことを望んで止まぬ

日滿親善は體操から 事變記念日を期し 日本全國に建國體操を實施

【東京國通】日滿親善は體操から滿洲國文教部の委囑を受けた日本國民體育保健協會では毎年三月一日の滿洲國建國記念日、五月二日の皇帝御訪日宣詔記念日、九月十八日事變記念日の三日間を滿洲國建國體操日として日本全國の各學校、官廳青年團工場等でこの滿洲情緒豐かな力强い體操を實施、王の汗と共に友邦滿洲國の建國を想起しやうと各方面に動きかけて居たが此程陸軍省 文部省を始め關係各方面し壓倒的賛成を得たので愈々來る九月十八日の事變五周年記念日を最初の建國體操日とし同體操の音樂と號令を吹込んだレコードに添へて建國體操解説書約十萬部を各府縣に配布、九月十八日から各所に講習會を開く事となつた

蒙古の王様 成城學園入學

【東京國通】歲若き蒙古の王樣が政治學研究のため來朝された、滿洲國錦州省東土默特旗札薩克王雲丹桑布氏（二二）で夫人、令息を始め從者數名を伴つて廿五日午前七時十分多數の出迎へを受けて入京した、今後の事は一切善隣協會に委せてあるが令息は多摩川學園へ、自分は成城學園に入つて後早大の政經科で三ケ年程みつちり勉強したいと語つて居る

京白線ペスト 新京に二名

京白線新廟驛北方八滿里卡拉店のペストまだ終熄をみず二十四日發病した女、王桂玉（一〇）は二十五日午前六時に死亡、續いて耿菊子（八）も同七時死亡した

◇……觀光協會創立總會

山火事を防止しませう 林務司で標語募集

實業部林務司では國内の林政基調となつてゐる生成林の保護育成上最も恐るべき山火事が例年の如く此の九月頃から頻發するので、兼ねてより種々對策を考究中であつたが、今回各部落に愛林會と云ふ防火組合を組織して地方民に防火思想を普及徹底せしめることゝなり、本年中に二十ケ所設置の豫定の下に着々準備を進めつゝあるが、これと同時に一般から左記要項により山火事防止の思想を基調とした宣傳ポスター及び標語を募集することになつた

（イ）ポスター

一、應募資格
A組 國内林業關係會社員 伐木業者其他一般
B組 日滿中等學校生徒
C組 日滿小學校兒童

二、應募要領
イ、縱三尺横二尺とし色彩は白黑共八色以内
ロ、山火が國土保安に、農林業等に及ぼす影響又は之が防止に依り好影響を諷示し、一見して的確强烈に山火防止の思想を一般民衆に印象せしめ得るものたること
ハ、裏面に住所職名又は校名及姓名を明記すること

三、賞金
A組 一等 三十圓一人 二等 二十圓一人
B組 一等 十圓一人 二等 五圓一人 三等 三圓一人
C組 一等 賞品一人 二等 賞品一人 三等 賞品一人
各副賞所屬學校へフットボール一箇

四、發表 三年九月二十日前後本人に通知及び新聞紙上

五、送附先 新京豐樂路一郡ビル内實業部林務司監理科懸賞係宛

（ロ）標語

一、應募資格 一般

二、應募要領
1、數語にて山火防止の必要を表現せしむること
2、標語數は一人三種以内
3、日滿語何れにても可
4、用紙は官製はがき、住所職名又は校名及姓名を明記すること

三、賞金 一等 十五圓一人 二等 十圓二人 三等 五圓三人

四、發表 及送附先はポスターに同じ

地籍整理局 職員見習生募集

地籍整理局では今回第二回職員見習生募集を行ふことゝなつたがその要綱左の如し

一、修業期間 三ケ月
一、入所時期 十月一日
一、募集人員 日本人五十名
一、應募期限 九月十日午後四時迄
一、應募資格 中等學校卒業者にして廿五才未滿の者
一、試驗期日 九月廿二、三日
一、試驗科目 代數、幾何讀書、作文、口頭試問、身體檢査
一、試驗場所 新京大經路小學校

アナウンサー 電々で募集

電々會社では十月から實施する豫定の新京二重放送開始に備へ併せてより良き放送の實現を期すべく、日人男子四名女子一名並に滿人男女各一名のアナウンサーを新に募集することになつた、應募條件は年齡滿二十一才以上三十二才以下の者（滿人女子は滿二十才以上滿二十五才以下の者）で專門學校以上の卒業者（但し滿人女子は中等學校以上卒業者）であるが何れも標準語（滿人は北京官話）を正確に話し得る者で此の條件に合致する希望者は九月十日迄に自筆の履歷書、身分證明書及最近撮影した寫眞を添えて電々會社新京放送局又は大連放送局に提出するとよい、試驗は大略九月十日迄に願書受付の放送局で第一次詮衡試驗を行ひ九月十五日及十六日（豫定）の兩日、第一次試驗合格者について電々本社で第二次詮衡試驗を行ふ豫定であるが試驗項目は音聲、常識及人物考査體格檢査でアナウンサーとして最も必要な科目ばかりである

土産品陳列所で 絨毯月賦販賣

新京驛前に在る大興公司の滿洲生産品陳列所では滿蒙資源開發紹介、農村副業民藝振興の建前から、最近頓みに需用者の多くなつた絨氈の購入に就て斡旋することゝなつた、殊に月賦で手に入るやう別項のやうな規約が出來、その申込みを受けることゝなつた

一、頒布絨氈
頒布品は全部御希望を伺ひ新規に現地に於て左記の通り調達の事
奉天絨氈…圖案大きさ御希望通り新規に調製の事主として北平、天津絨氈の模樣にて高級品なり、新京渡尺坪當一圓五十錢より三圓見當
熱河絨氈…熱河の特色ある柄により（陳列所備付見本に依り）新規に製作の上頒布日本座敷向にて新京渡尺坪當二圓見當
北京絨氈…大體の色合圖柄大きさの指定を願ひ北平に於て既製品を撰定購入頒布
最も實用的にして新京渡尺坪當參圓五十錢以内見當
天津絨氈…御希望通り新規製作の上頒布
東洋絨氈の最高級品にて永久的使用に堪へ絹絲狀の光澤を出せるもの新京渡尺坪當五圓乃至六圓の見當

一、頒布時期
奉天…註文後二ケ月半にて現品御渡の豫定
熱河…註文後三ケ月半にて現品御渡の豫定
北平…註文後一ケ月半にて現品御渡の豫定
天津…註文後三ケ月半にて現品御渡の豫定

一、會費並徴收方法
絨氈代金を以て會費とす、絨氈引渡濟の月より徴收の事六ケ月月賦（月賦金額は代金の六等分とす）

一、申込方法
申込は直接新京驛前即ち滿洲土産品陳列所御來所の上御希望條項御話の上御申込下さる樣御願ひします
其の節係に於て申込用紙を用意して居ります故それに御署名と御捺印願ひます、御問合電話は（三）一六四四四番

一、會員數 二十五名限り
一、募集締切期日 九月十日限り

靖獻遺言講了 講本殘部無料贈呈

本社後援王道學會の靖獻遺言講義は來る三十日の日曜を以て全八卷の講義を終了することゝなりたるが講本の印刷は再び其機會なかるべければ講本希望の向は終講日に於て當番幹事に申出で配付を受けられたしと

丁香廬漫筆（五一）

◎闘牛（二）

突く部分も大概決まつて居り背頸から肩の邊へかけてゞあるが突かれた牛は是時初めて敵の存在を自覺し猛然と突掛かつて來る、牛の力といふものは恐しいもので無論例のカバーの上から突かけ突き上げるのであるが宙といつては少々變だが何樣人馬諸共相當の高さまで突上げるから凄まじい、一度はカバーが外れ牛の角が腹部に突入り其儘横倒しに倒され騎手は逃げ出し馬は腸を露出して斃れるのを見たがそんな時は運搬用の二頭立ての簡單な橇みたいなものを引入れ瞬く間に場外に曳摺つて行つて了ふ、最後に牛を運ぶときも同樣である。

×

此れから幾人かの徒歩の闘牛手が入替り立替り出ては一刺或は二刺（一太刀或は二太刀と云ひ度いがヘナくの洋刀で突き刺すのである）を浴せて引揚げる、中には隨分未熟な奴が居つて屁ぴり腰で立向ひ牛から追かけられて逃出すのもある、斯かる時の避難所としてスタディアムの圓の内側に處々小さな弧の壁が出來て居り弧と圓との距離は僅かに人軀を容れる丈の幅しかないから逃げ込んだが最後如何な牛も玆までは追跡が出來ぬ牛が數々の痛手に堪兼ねて愈よ荒狂ふてそれが絶頂に達したかと思はれる時最後の止めを刺すために大拍手の下に第一闘牛手が登場する、例の赤裏の布呂敷見たいなものに劍を藏し突掛つて來る荒牛を左右にかはす、軈てぴたり立止まつたかと思ふと敵の虚に乘じて一刀を見舞ふ減多に見當が外れぬ實に間髪を容れぬ早技であるが、次第に高まり行くクライマックスと此れに奔處する如何にも輕捷機敏の活躍とは看客をして手に汗を握らせる、流石は一流闘牛手である。色は淺黑く中肉中背で（ルドルフ・ウアレンチノ型と云つた處）如何にも決つきりして居り『いなせ』と云ふ感じだ、日本の野球投手にもこんな型があり相當觀衆に騷がれるのがある。（有名な闘牛手を産する地方は大概決まつてるといふ話も聞いた）闘牛手と荒牛との最後の場面であらう、而して此に對し熱狂し夢中になつて騷ぐ西班牙人の氣持ちも諒解出來ぬでは無いが、何樣余等東方君子國の遊子には聊か慘酷過ぎる。

商況欄（八月廿七日後場）

株式相場

▲大連株式（短期）

品名	寄	引
五品新	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
鈔新	[illegible]	—
錢新	[illegible]	—
東鐵	[illegible]	[illegible]
滿新	[illegible]	—
二新	[illegible]	—
日産	[illegible]	—

▲奉天株式（短期）

品名	寄	引
五品新	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
鈔新	[illegible]	—
錢新	[illegible]	—
東鐵	[illegible]	[illegible]
滿新	[illegible]	—
二新	[illegible]	—
日産	[illegible]	—

各地商品市況

品名	寄	引
滿取	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
日産	[illegible]	—
五品	[illegible]	—
鐘新	[illegible]	—
豆新	[illegible]	—
二新	[illegible]	—
電甲	[illegible]	—
東拓	[illegible]	—
滿興	[illegible]	—
滿毛	[illegible]	—
後先	[illegible]	[illegible]

▲横濱生絲

品名	寄	引
現物	[illegible]	—
當限	[illegible]	—
先限	[illegible]	—

手形交換高（廿七日）

品名		
金票	[illegible]	[illegible]
鈔票	[illegible]	[illegible]
國幣	[illegible]	[illegible]

鮮魚小賣相場（廿七日）

品名	最高	最低
中タイ	[illegible]	[illegible]
氷鰈	[illegible]	[illegible]
活鯛	一二六	六六
連子鯛	…	…
チヌ鯛	四二	三四
アマ鯛	五四	…
イセエビ	八四	六〇
車エビ	一四四	…
ブリ	二四	一八
ヒラス	二八	二二
マナカツオ	…	…
黒鯛	…	…
マクロ	…	…
カツオ	…	…
サハラ	一三	一〇
赤ムツ	…	…
イワシ	…	…
ニベ	一四	一三
サバ	一二	一一
アブチ	一三	九
メバル	…	…
ヒラメ	一八	九
コチ	一四	一一
コノシロ	一二	一〇
ホーボー	…	…
ボラ	…	…
キス	六〇	三〇
サヨリ	…	…
タコ	六三	三四
カニ	…	…
小エビ	…	…
カレイ	…	…
タイラ	…	…
甲イカ	…	…
ンワビ	…	…
クロナマコ	…	…
貝柱	…	…
シジミ	…	…
ハマグリ	六四	四三
カキ	…	…
ウナギ	…	…
ニベ同	二四	二〇
ブリ	…	…
サハラ	四三	三六

野菜小賣相場（廿七日）【百匁に付き】

品名	最高	最低
馬鈴薯	五	三
里芋	一五	八
赤芽芋	一二	八
山芋	一三	一〇
甘諸	一〇	五
ツクネ芋	三〇	二〇
蓮根	一六	一二
胡瓜	八	六
南瓜	一二	五
洋瓜	…	…
冬瓜	一〇	六
長ナス	四	二
小ナス	…	…
ホーレン草	八	五
杓子菜	…	…
シンギク	八	五
芥子菜	…	…
高菜	…	…
水菜	…	…
花キャベツ	…	…
キャベツ	五	三
水セリ	…	…
セリ	…	…
ワケギ	五	三
パセリ	三	一
三ツ葉	五	四
玉葱	五	四
葉葱	五	三
ウド	五	五
フキ	五	三
長大根	五	三
人參	五	三
牛蒡	三五	二四
カブ	五	三
小豆	五	三
絹サヤ	一〇	六
生姜	…	…
ハジカミ	…	…
根芋	一五	一〇
木ノ芽	四〇	二〇
カイワレ	…	…
ボウフ	…	…
筍	一〇	八
山葵	一〇	八
銀杏	一五〇	八〇
ニンニク	一〇	五
ニラ	五	一
サラダ	…	…
林檎	…	…
同紅玉	二五	二〇
同國光	…	…
同廿世紀	…	…
同長十郎	…	…
同早生赤	…	…
梨	…	…
同ネーブル	…	…
同蜜柑	…	…
金柑	…	…
夏橙	…	…
レモン	二五	二〇
柚子	…	…
栗	…	…
バナナ	…	…
メロン	五五	四〇
西瓜	八	五
苺	…	…
トマト	五	三

進展する都市計畫 (四)

地方計畫として 理想的なる實踐

―衞星都市による人口分散―

その停止するところなき近代都市の膨脹に對して、追隨的改良を能事とする樣な都市計畫が、到底都市の經濟的能事を增進し、市民生活を安全快適ならしむる所以の完全なる方途でないことは明かで、近來都市計畫の理論ならびに實踐において、地方計畫が重要視せられ尊重されるやうになつたのは決して偶然ではない

元來都市が繁榮するにはある程度の大きさを必要とするのは當然であるが一定の程度を超へるとその大きさを加へる事に依つて種々の弊害を生ずるのが普通で、例へば交通の關係において、上下水道の關係において、住宅の問題において、經濟の關係におよび、多く利益のこれに伴はぬのみか、その禍害の及ぶところ結局市民の活動力を減殺し延いては都市の機能を阻止するやうになるのである。即ちこれを防ぐの途は、都市の膨脹を適度の範圍內に制限して所謂過大都市に陷らしめざることにある

×　×

この要求を充すものが、夙に日本內地に勃興してゐる地方計畫であるが、勿論これは今さら事新らしい傾向ではない、すでに一九二四年アムステルダムにおける都市計畫權威者の會議で決議された都市計畫綱領は確かに地方計畫の方向を明示してゐる

すなはちその綱領には(一)大都市が無制限に膨脹發展するのは望ましくない、過大都市の狀態はまだそこまで行かない爾餘の都市に對してよい警めである(二)衞星都市によりて人口の分散を圖るのは多くの場合過大都市體の成立を豫防するの一手段となるであらう(三)大都市が永く農地、菜園、牧場等の用に供せらるる綠靑地帶によつて繞らされ、これによつて市街地が限りなく續くのを防遏することが望ましい等々と强調されてゐる

×　×

この都市計畫上の新らしき傾向としての角度から見て、哈爾濱都市計畫が全く地方計畫の方針に準據して行はれたものであることは、頗る注目すべき事實であると考へられる。すなはち哈爾濱都市計畫においては、前述のごとく母市の包容人口を百萬人と豫定して、一定範圍にその膨脹を統制し、それ以上の將來の發展膨脹に對しては、外郊適當の地を選んで衞星都市を設け完全なる交通機關によつて、これが連絡を十分ならしめよつてもつて母市と衞星都市をして、恰も根幹枝葉の關係に立たしめんとするものでこれに要する土地のごときもそれが必要に應じて買收さるるかあるひは法規の力で私權の拘束が加へらるることとなるから、完全にその目的が達成されることゝなつてゐる。

けだし、地方計畫の實踐として日本內地においては關東地方計畫近畿地方計畫等この蹤を問くけれども、實際計畫としては哈爾濱において、はじめてその實例を見るのである。これは內地に對しても十分誇り得べき、一大特色であり新例であるといへる。(水口生)

日滿鐵壁の掃匪陣に 萎える合流匪團

北滿地方の肅淸工作進む

【ハルビン國通】八月十七日龍王廟(濱北線綏化驛東南方八里)附近にて匪首老團長、大東來、九江等の合流匪三百蟠居中との報に接した○○駐屯管澤部隊は急遽出動該地附近を捜査中十八日午後十一時房家店に於て該匪團三百名と遭遇激戰一時間の後これを東方に擊退したが更に急追して双鴨山及び吳林屯附近に於てこれを徹底的に擊滅した右戰鬪にて敵の遺棄死體二十二、負傷十五、鹵獲小銃二、馬三我方負傷二等兵松永健司

廿二日午後五時頃巴彥縣警察隊は自警團四百と共に出動、縣城東南方約五滿里の五家營に追擊砲、機關銃を有して蟠居中の姚匪首以下二百名の匪賊を急襲激戰三時間の後匪は死體五を遺棄して潰走した、一方肇東縣警察隊佐藤指導官以下三十名は縣城西北四滿里の地點に東北軍四海等の合流匪二十を急襲激戰十時間の後之を殲滅した、匪の遺棄死體十五、鹵獲長銃六、拳銃二、我方負傷三人質三名奪還

國婦延吉支部の發會式擧行

【吉林國通】銃後の守り滿洲國々防婦女會は各地に於て續々結成を見てゐるが、延吉に於ても廿四日午後一時より同市兩級中學校に於て延吉支部の發會式を擧行した、當日は鷹森部隊長以下關係者多數列席盛會を呈した、因みに同支部會員は現在約百五十名、なほ同支部發會式後會員は市中行進を行ひ日滿軍警の慰問をなした

防空講演と映畫の夕べ

哈市公署で近く開催

【ハルビン國通】ハルビン市公署では九月中旬の大防空演習に備へ滿露人に對し防空思想普及涵養のため來る九月三日五日の二日間キャピトル及びアジア兩劇場で防空講演と映畫の夕を開催する事となつた、當日は市長、省長、濱江地區司令官、第四軍管區將校等の挨拶並に講演に次で映畫「國都防空防護團の活躍」等盛澤山に上映の筈

濱江協和會で 電映會

【ハルビン國通】協和會濱江省事務局で廿二、廿三兩日省聯合會を開催したが、來る廿六日道裡公園で之が報告を兼ねて電映會を開催、今次機構擴充に伴ふ協和會の新方針並にその精神を弘く一般民衆に徹底せしめることゝなつた

東滿地方の 主要食料品 ―七月市況―

【圖們國通】圖們を中心とし東滿地方の主要食料品、米、雜穀等七月中の市況概略左の如し

麥粉　前月對比廿錢乃至卅錢高
粟　一圓廿錢の値下
大豆　前月と變動なし
朝鮮產白米　卅錢乃至六十錢高
滿洲產白米　廿錢の下落

尙は引續き八月の市況は麥粉が需要期に入りて相當値上りを見るべき外は七月をレベルに當分落ちつくであらうと當地の經濟界では見亙る

滿洲農學會 第四回大會 大連で開催

滿洲農學會第四回大會は來る九月一、二兩日大連滿鐵協和會館に於て開催、出席者は滿洲、朝鮮、日本各地農業關係者三百名に達し、會務、會計報告、三年度豫算案提出議案審議の後研究發表並に特別講演を行ひ滿洲の各農業問題卅二件に亘り專門の立場から研究發表が行はれるので非常に期待されてゐる

社會事業施設の 調査機關强化

新大野總監の經綸期待さる

【京城支局】新任大野政務總監はかつて社會局職業課長を勤めた前歷があるため今後の朝鮮の社會事業には獨特の新らしき抱負經綸が移されるは必然的のもので大いに期して待つべきものがあるが時恰も前總監の置土產として社會施設調査委員會設立が計畫途上にあり半島の特殊的地位並に民情に即したアクテイブな社會施設擴充に對しては逸早く卓越の識見知識を以つて乘出すべく發意しており就中同計畫は繼續し或ひは豫定を早め九月か十月頃迄に權威數十名の委員を網羅した一大調査機關を設置し然かも總監自ら委員長となり

一、方面委員設置
一、公益質屋增設
一、授產事業の確立
一、細窮民地區の設定

など諸般に亙り調査檢討を遂げんとしてゐるが愈々朝鮮社會事業は專門知識に明るき總監を迎え必ずや一大エポックメーキングを劃するものと注目期待されてゐる

協和會吉林分會 續々結成

【吉林廿六日發國通】新協和會運動によつて市民總動員の實を擧げ以て建國精神の徹底を圖るため協和會吉林事務局では過般來吉林市本部結成に大童の活動を續けてゐるが、之を構成する四十三分會の結成は二十三日市公署分會(會員四三一名分會長徐市長)を皮切りに二十四日警察廳分會(會員九百三十九名、分會長孫廳長)廿五日には市民側最初の新開門分會(會員六百名分會長劉甲長)等連日發會式が擧げられ、來月十日までには全分會の結成を完了して輝しき活躍のスタートを切る筈尙日人側市民には主旨不徹底の憾ある爲九月十日公會堂に市民大會を開催してその徹底を圖ると共に、結成委員會は事務所を民會樓上に移して活動に不便なからしめた

西豐縣平崗附近で 定期バス匪襲

【奉天國通】二十四日午後零時半頃西豐縣城北方十四キロの平崗附近に於て西安より西方に赴く定期バスが約二十名の土匪に襲擊され運轉手、乘客九名は拉致された急報に接し西豐より市野○隊が出動、目下該匪を追擊中である

朝鮮リンゴ 一二割の減收

【京城支局】朝鮮產平果は弗々出廻期に入つたが本年は內鮮滿共に昨年末から今年初めにかけ最近になき酷寒に襲はれ凶作で朝鮮內の主產地たる鎭南浦及黃州地方は特に作柄不良咸南地方も亦同樣である只大邱方面が昨年より幾分良好といふ程度で全鮮的に見て本年は一二割減收を予想されて居る

竣工をいそぐ ―吉林省公署新廳舍―

滿洲色豐かな吉林省公署新廳舍の上棟式は廿四日午後三時より同廳舍三階に於て盛大に擧行された(寫眞は工事中の新廳舍)

滿洲の原野に 自生する藥草

◇…今が絶好の採取季節…◇

滿洲の野に根强く扈る夏草を我々は心なくも拔き捨て踏みにじて居るが、その中には植物に對する興味と採集の趣味とを養成するに足るものがあるばかりでなく、藥草としても至極有益なものが數多く存在してゐることを見逃してはならない、秋風に凋ばない中朝夕の子供達との郊外散步の中に藥草採集をするのも趣味深い事であらう

曾つて沿線に於て或る人が藥草を採集した中に漢藥として數ふべきもので殆ど南滿洲に於て廣く用ひられるものが七六科二百二十三種あつた、との事である又東部內蒙古で採集した人は三八科五九種得られたとの事であるが、それ等は殆んど南滿洲の方にも出來るもので蒙古で藥草とされてゐるものは殆んど滿洲でも漢草として取扱はれてゐる譯である、南滿沿線廣く言へば遼河、鴨綠江及び松花江の一部流域位に於てそれであるから、北滿には又異つた藥草が得られるだらう

以下滿洲に於て割にたやすく山野に於て得られるその少數を擧げて參考にしたいと思ふ

一、おほばこ

路傍庭等に何處にでも生へて一番拔き難くつて然もよく扈る葉の幅の廣い車前科に屬する植物である

主治效　腫物が出來た時、柔い葉の部分を取つて一寸火にあぶつて兩掌で輕くもみ腫物の大きさ位に丸く切つて帖つて置けば吸出の代用を務める、又葉を取つて來て水洗ひして蔭干して置き甘茶を煎じる樣に土瓶等で煎じお茶の代用として日に三回づつも用ふれば婦人病の藥であつて冷え性の人には大變いゝと言ふ事である

二、げんのしようこ(ふうろうそう)

原野に生ずる多年草であつて根株から二三の莖を抽ち臥伏或は斜上して長さ一二尺に伸ぶ葉莖共に毛茸を被つて居る夏秋の交、枝頭分梗して開花する、花は開莖三四分、葉は「あおひ」の葉に似て切れ目がある、花の色は滿洲では濃い桃色に少し紫味をおびた五瓣で可愛らしい

果實熟すれば心皮開裂反捲して種子を彈き出す、牝牛兒科に屬する

主治效　古來整腸劑として民間に使用される即ちよく生ひ茂つて開花し始めた頃、莖も葉も花も一緒に採集して水洗ひして蔭干をして置く、五分か一寸位に切つてお茶の葉の樣にして前同樣煎じて茶碗一杯づゝも戴けばよろしい、下痢止め整腸に效あり、又下熱劑として風邪をひいた時にも用ひ方は同樣である

げんのしようこは素人のよく知るものであつて一步野外に出れば綠草の中に可愛いゝ花を開いてゐるものであるから夏の中に十分に採集して置くがよろしい

三、イヌゴマ

原植物　脣形科に屬し、山野に自生する「イヌゴマ」の全草である

異名　チロギタマシ

形態　草本であつて高さ二、三尺、莖は方形であつて粗毛を密生してゐる、葉は披針形であつて鋸齒を有し、短かい葉柄を以て對生してゐる、花は莖の頂部に及び上部の葉莖に叢生してゐる花冠は脣形であつて淡い紅紫色である

滿洲に於る產地　遼陽其他各地に產する

參考　有毒植物であつて昔時は藥用に供したけれども現今は此植物の類に屬する香の葉を食傷、コレラ等に用ゐて其のひどい吐瀉及び腹痛を緩和し、食慾を增進せしめ、多少解熱作用を有するものである、一回の用量は三乃至五グラムである

四、イヌビユ(カケン)

原植物　ケン科に屬し原野路傍に自生するカケンの葉を藥用に供する

異名　白通子、馬齒、和名は「ノビユ」とも稱し阿波國では「アカヒイナ」と言ふ事である

形態　莖は赤みを帶びて直立し或は斜上してゐる、高さ一尺ばかり、牛滑桑歟、葉はヒユの葉に似て小さく長い葉柄であつて卵狀長隋圓形又は圓形をなし長さ一寸ばかりで野生してゐる、夏秋の頃枝頭毎に穗狀の花をつける、長さ二、三寸位で綠色の細い小花を簇する花はヒユの花に似て萼片は線狀長隋圓形であつて鈍頭又は鋭頭である

南滿に於る產地　各地に產する

應用　止瀉劑である、大小便を利し、初痢を治し胎を滑かにする、藥用に供するには葉を夏の日採集して乾燥して用ふる、若い莖や葉は食用にも供せられる　(未完)

家庭

國防と婦人

尊い犠牲を偲び― 日滿不可分を強調

"第二回婦人講座"の席上で

〔二〕 河本大作氏の講演内容

(事)變前に到りまして滿洲の軍閥が歐米の口車に乘つて滿洲に於ける日本の既得權を洗ひ流さうとしたのであります、こゝに昭和六年九月十八日柳條溝の事件となりそれをきつかけに滿洲事變が勃發したのであります其の結果日本は世界列國があげて反對するのを押し切つて滿洲國の獨立を認めたのであります昔は日本の附近へ軍艦が來なければ危險はなかつたのでありますが現代は航空機關が非常に發達し各國とも優秀な空軍の建設に全力を注いでゐるといふやうな有樣であります、たとへば浦鹽にあるソ聯の重爆撃機などは一日のうちに東京と云はず日本の重要な地點を襲ひおびやかして歸る能力をもつてゐるのであります、そこで日本は滿洲國の國防安全を圖ると共にいつも惡魔のやつてくる鬼門の方も押へておかねば日本の國防充實とは云へないので若し滿洲國及日本をおびやかす魔物が現はれたときは忽ちにしてこれを撃滅するためにつくられたのが日滿議定書であります、この議定書は當時の滿洲國執政溥儀氏と我が武藤元帥との間に(調)印が行はれましたがその內容は國防上滿洲に日本の軍隊を駐屯せしめること鐵道敷設鐵石炭其他資源開發にはどし／＼日本の資本を入れることといふのでありましてつまり日本と滿洲は國防上のワンブロックとなつてゐるのでありますかやうにして滿洲は僅か數年の間に立派な獨立國となりまして軍閥時代の惡政組織を改め新京には立派な政府が出來立派な國家の體系が具はつて來ましたので最近植田全權大使と滿洲國外交部大臣張燕卿氏の間に治外法權撤廢に關する條約が結ばれたのであります、治外法權撤廢と申しますことは滿洲國創立の理想とする五族協和すなはち日、鮮、滿、漢、蒙の五族が滿洲國內で同じ權利義務をもつやうになつたのであります、日本人は今までは滿鐵附屬地內のみにあつたものが今後は滿洲國內如何なるところへ行つても附屬地內と同じやうになつたのであります、言ひかへれば日本內地と同じやうになつたのであります、この日滿議定書と治外法權撤廢問題は滿洲に居られる(母)たる皆さん方ははつきり頭に置いて頂きたいのであります、要するに滿洲といふところは國防上他の國の自由にならない滿洲にあつても自由にまかす事は出來ないところでありますそれは我々の先輩が幾多の尊い犧牲を拂つてゐるからであります、我々はいかなる犧牲を拂ふとも絕對に滿洲を確保せねばならないのであります　(續く)

秋の柔肌に大切な お化粧法二題

就寢前の手入れと果物利用

A

いくら「健康美」でも、「黒い」ことだけが健康美ではないので、いはゞ指でつけば、はぢき返されるやうにはりつめた、また艶々してなめらかな、光澤のある肌、そこから輝き出す、健康美でなくてはなりません、それにはやはり「手のこんだ美容」といふことを忘れてはならないのですそこで第一に申したいことは寢る前の肌の手入です、まづすつかりお化粧を洗ひ落してそのあとにレモンクリームをつけ、輕くマッサーヂするのですが、それには顔ばかりでなく

肩も腕も手入れ

しなくてはなりません。或は「美身劑」を熱湯にとき熱いうちに顔から衿から肩から腕を洗ふのもよい、かうして肌の手入れを忘れないやうにしていたゞきたいものです。次にお化粧ですが、秋のお化粧は晝と夜とをハッキリ分けることが大切です。といふのは秋は空氣がすんでゐますから、晝はできるだけ目立たないお化粧を、夜はむしろ、ハデに目立つお化粧をする事です。つまり晝は小麥色にやけた健康色に近い色白粉を使つてうつすらとお化粧するのです、そして眉と唇はハッキリとして小麥色の肌をひきしめる樣に致します。

B

夏から秋にかけて果物がとても豐富ですから、これを用ひて美顔術をなさることをおすゝめします。ことに

葡萄は美顔術に

用ひていゝものです。レモン汁も陽やけの恢復にいゝやうに始終紹介されてゐますが、皮膚の弱い人には刺戟が強すぎますので、さういふ人のためには葡萄の方がずつと效果的です。葡萄は白でも赤でも、大粒でも、小粒でも、いゝので、これは一つ／＼、つぶして顔にすりこみます。もつと丁寧に申しまするなら葡萄の一粒をとつて顔に當て顔で押しつぶしてそのまゝよくすりこむのですが、これは凡そ十粒位やればよく、かうしてすりこんだら三十分間位そのまゝでおき、あとは微溫湯で洗ひ落し、更らに冷水でもう一度洗ひます。そして、最後にスキソフレッドを塗つてお化粧をしますが、これは日焼けの恢復にいゝばかりでなく、淺黒い皮膚の人ニキビの出來た皮膚にも相當效果があります。

野菜を煮るときの 主婦の心得

熱湯で、簡單に

大切な榮養素を失はないやうに野菜を煮る方法―それは野菜の種類によつてやり方がちがふけれど、大抵のものは先づ水で洗つてそのまゝ煮立つた湯の中に入れると、榮養素を損失する事が少くない。野菜の持つ榮養素のうち最も多いといはれてゐるビタミンCは低溫の中に長い間入れて置くよりも高溫で短時間に煮た方が損失が少いのであります。次に鍋に入れる水はなるべく少量にして、ゆでた湯を捨てないやうにすることだ。何故かと言ふに、野菜の持つビタミンCとかDとかいふ榮養は水に溶け易いからと、物をゆでた後の湯を捨てると、その湯の方にある折角の榮養素が無駄になつてしまふ。そこでゆでた後の湯は出來るだけおつゆか何んかにして吸ふやうに心掛けるべきである。ゆでなければならないものはまづヂャガイモのやうなものはよく洗つて、ゆでる時皮をむかず、水を少くして茹で、食べる直前皮をむくのがよい。それを最初から皮をむいて切つて茹でると、前者は約三パーセント內外しか榮養素を損失しないのに拘はらず、後者の場合は十二パーセントから十五パーセント損失する。

次に お葉の類であるが、これを茹でるときは、短時間で茹でるがよく、ゆであがつたものを水に入れてあくを拔く時は手早くしぼつて引きあげるのが肝要、水の中に長く入れておくと、前にもいつた水溶性の榮養素がドン／＼失はれてしまふ、よくこれから寒くなると、ゆでた葉を四日も五日も水の中に入れてあく拔きをやつてゐる家庭がある。が、之は何としても殘念な事で。然しネギのやうに臭味のあるものは長く煮なければ臭みが拔けないし、キャベツなどは長く煮ると臭ひが惡くなるといふいろ／＼の例外はある。

△江戸幕府の末期に弓組の名が鐵砲組に變りましたのが文久二年の八月二十七日でありました。

△寫眞術の先覺者で我國最初の從軍寫眞師たる上野彥馬は天保九年の同じ日長崎に生れました。

△月食に驚いてアテネ軍が遂に敗戰したといふのが西曆紀元前四百十三年八月二十七日の皆既月食に當ります。

△ドイツの啓學者ヘーゲルの誕生日は今日で西曆一七七〇年生れであります

お料理獻立

鱸のおろし燒

これはすゝきでも黒鯛などでも美味しいものでございますから恰度只今味ののつてゐるこれらのものでおこしらへ下さいませ

【材料】(五人前)　すゝき　五切　大根　半本位　醬油みりん　適量

魚をみりん、醬油の汁に浸けておいて燒き、つけ汁とおろしを合せ煮てかけます。

けふの番組

(M・T・C・Y 新京放送局) 廿七日(木曜日)

朝

六・〇〇 建國體操(大連)
六・二〇 ラヂオ體操(東京)
六・四〇 中等滿洲語講座(大連) 講師 秩父固太郎
七・〇〇 中等日本語講座(奉天) 講師 近藤喜助
七・二〇 氣象通報(大連)
引續き 朝の音樂(大連)
八・三〇 經濟市況(東京)
九・〇〇 早晨演奏(奉天)
九・二〇 料理獻立(大連)
九・四〇 經濟市況(大連)
一〇・〇〇 家庭講座 短歌の味ひ方作り方(四) 甲斐水棹
一〇・二五 家庭メモ
一〇・三五 經濟市況(大連)
一〇・四〇 經濟市況(東京)
一〇・五九 時報(東京)
一一・四〇 ニュース(東京、新京)

晝

〇・〇一 經濟市況(大連、新京)
〇・二〇 晝の演藝(レコード)
〇・四〇 建國體操
一・〇〇 白天演藝 滿唱 漢陽院 老生 文昭關 佩芝 胡琴 何競武
一・二〇 ニュース(滿語)
一・三〇 成人講座(哈爾濱) 詩的分析(四) 濱江省教育廳教育股長 馮文蔚
一・五〇 下午演奏(大連)
二・〇〇 經濟市況(滿語) 引續き 日用品値段
二・五〇 經濟市況(東京)
三・〇〇 ニュース(東京、新京)
三・三〇 經濟市況(大連)
四・三〇 ニュース、演藝(鮮語)
四・五〇 ニュース(英語)

夜

五・〇〇 子供の時間 挨拶 子爵 三島通陽 お話 滿洲國を訪れて 東京聯合少年團滿洲派遣團代表 關屋五十二
五・二〇 コドモの新聞(東京)
五・二五 氣象通報、番組豫告
六・〇〇 ニュース(東京)
六・二〇 今晚の番組
六・二五 政府公報 官報公示(滿語)
六・三〇 國民の時間 人民的覺悟和義務 哈爾濱公報社長 關鴻翼
七・〇〇 チエロ獨奏 神保隆敏 ピアノ伴奏 細田透 一、子守唄 ノルク作品ノ二 二、あゝ輝かりし日よ ポッパー作品六四ノ一 三、アンダンテ ゲルック作曲 四、サルタレロ ゴルターマン作品五九ノ二
七・二〇 うた澤(東京) 一、(イ)初秋 (ロ)秋汐 唄 歌澤泰光太夫 三味線 哥澤芝香 二、(イ)めれぬ先 (ロ)苅萱 唄 歌澤寅松 三味線 歌澤寅清子
七・四五 浪花節(東京) 陸奧美談 黃金の華 東武藏
八・三〇 時報、ニュース(東京)
引續き ニュース
八・四五 ニュース、經濟市況、氣象通報、番組豫告(滿語)
九・〇〇 新樂 漫雲雅樂團演員 一、二々行進曲 二、花弄影 三、柳青娘 四、落花 引續き 賀后罵殿 舊劇 協和國劇社名票
一〇・〇〇 北滿の時間(哈爾濱)

四つの小品獨奏

神保隆敏氏のチエロ

後七時 新京　ピアノ伴奏 細田透

四つの小品を獨奏する神保氏は曾て先日新聞紙がその死を報じた日本チエロ界の元老ハインリッヒウエルクマイスタ氏に學ばれ放送も度々して居る(寫眞は神保隆敏氏)

一、子守歌 ノルク作品ノ二

オーガストノルクの單純なメロディーが終始流れてそれが却つて曲に相應しく聞く者の心をそゝりたて搖籃のリズムに乘つて遠い憧れの中に未だ見ぬ夢を追ふものの樣である

二、あゝ輝かりし日よ ポッパー作品六四ノ一

多くのすぐれたチエロ曲を殘していつたダビットポッパーは一八七六年プラーグに生れ一九一三年にオースタリで死んだ天性快活であつた彼の作品は非常に深酷を惱みを傳へてはゐないが美に溢れてゐる此處に示す曲は彼としては餘り演奏されないがやるせない追憶の詩情に滿ち涙を湛えた逸品である

三、アンダンテ グルック作曲

一七一四年南獨逸のコラスバッハに生れたグルックは歌劇作曲家として新しい音樂劇の創造に貢獻した。割に晩成であり彼を理解し得ない人々の間にあり苦痛を味ひ老衰の身を禁斷の暴飮に致命した。このアンダンテは有名な「オルフエオとユーリディチエ」の中の一節でフリュートの獨奏によるものであるが人口に膾炙しチエロ用としてアレンヂされてゐる。

四、サルタレロ ゴルターマン作品五九ノ二

ゲオルグゴルターマンもポッパーの如くチエロ奏者として高名を馳せチエロ曲に數多くの美しい作品を有してゐる。サルタレロは四分ノ二、八分の六拍子の跳躍的な舞曲で特にイタリー人の間に好まれこゝには樂器用として巧妙なるリズムに依り歌ふ甘美な部分が盛られ曲の構成は彼のト長調コンチエルトの終樂章を思はせる。

清秋によせて うた澤

後七・二〇東京

(一)哥澤　唄 哥澤泰光太夫　三味線 哥澤芝香

(イ)初秋　本調子

「初秋や、名もふみ月の戀のなぞ銀河祭のたはむれに、サアいつか女夫の約束も ヨイ／＼／＼ヨイヤサ」

(ロ)秋汐　本調子

「秋汐の、打ち來る浪の安房上總凉しき袖が浦風を、送る佃の島越して「綠の橋間の舟のうちあつさに空も打ち解けて、夕日を忍ぶ葭戸さへ、隔てぬ仲のゆかしさは簾に露おく川水へ、まだ暮れぬのに八日月、うつり心か村雲よりもアア氣にかゝるではないかいな」

(二)歌澤　唄 歌澤寅松　三味線 歌澤寅清子

(イ)ぬれぬ先　本調子

「濡れぬ先から浮名たつ、すゝきは露を戀したふ、ふりがなかをいぢわるな、風が邪魔してちら／＼と、おちて恥かし月のかげ」

(ロ)苅萱　本調子

「萩と萩との二人妻、仲よう見せて下ぶしは、亂るゝ髮の糸すゝき鉦たゝき蟲秋ふけて、木の葉にこがる簑蟲の、なく音わびしき露のころも手」

婦人公論(九月號)

▲水上日本のホープ遊佐選手と逢初夢子の戀愛、此の二人がどんなに有りふれた平凡な道を通つて相識り、そしてどんなに敬虔な氣持で愛し合つたかは當の逢初夢子嬢が自らその一切を告白してゐる。▲矢田津世子『秋扇』は果然センセイションを惹起した實業家とその愛妾の間に生れた二人の兄妹の生活を、かくまで涙深く描かれた作品はかつて無かつた ▲杉山平助の『新戀愛論』は豫想に違はず囂々の物議の種となり、數千名の讀者から反響讀後感等が一時に殺到した、本號では愈よその第二講。▲ちよつとした中間物隨筆類にしても、婦人公論では凡ゆる筆者が、のび／＼と何の屈托もなくその眞實に觸れてゐる。之は本誌の持ち味で九月號の一ふるさとの若き女性へ―に宇野千代女史が『落第生の氣安さ』と自分の前身を洗つてゐる邊り、女敎師と戀愛とそして多くの家出娘といふやうな題材を短かい文章の中によく纏めて云ひ知れぬ感動を與へてゐるやうに。その他、時評にしても特別讀物にしても連載創作欄にしても一點非のうちどころなき出色の出來榮えである。(定價五十錢・東京丸ビル、中央公論社發行)

恐るべき人類の敵 結核を撲滅せよ

"日本の不安"を何んとするか

(五)

多くの結核は其の殆ど總てが心身の過勞と日常生活の不攝生及び榮養不良から起つて來るやうです事業の失敗、家庭の不和、道德上の失態から來る煩悶、休養なき激務、無理な受驗勉強過度の運動、連日の夜遊び、我儘な偏食、濫用物の誤用、重病の後等はその何れも結核への抵抗力をすり減らして行きます、避けられない原因は已むを得ずとするも、改め得るものは直ちに改めて欲しいものです

◇…活動と休養のバランスは

私共の一生の總能率に大きな影響があります、仕事は是非愉快に働き、明るい太陽に親しみ、新鮮な空氣を胸一杯に吸つて行きませう、規則正しい食事と、適度の睡眠はつとめて取り度いものです薄着の習慣は自然に皮膚を鍛煉して、風邪を引かない樣にして異れます、無理に走らない樣注意深き運動は、あなたの抵抗力を何んなに強くして異れることでせうか

放蕩者や不道德者の末路が結核となるは天罰とあきらめても、華やかな選手生活の次に來るものが肺結核だつたとしたら、何んなに淋しい事でせう

今日太陽を望み得たとて明日誰がそれを保證し得ませうか平素健康に自信ありとは言へ感染の病理を知り、發病の道程を考へるならば生涯の健康生活を保證する爲に年に一度位は自巳の健康を打診すべきでせう、況んや肋膜炎 肺炎等の既往症を持つ人が平素虛弱に過したり、少青年期の病氣勝ちにあつたものが現在健康に暮し得るからとて、吾が身を省みないのは如何したと言ふ事でせう

「あの時あゝしておけば…」とは私共が祖先から受繼いで來た遺產の一つですが、健康に關する限り、我等一代で此の言葉を打切り決して子孫に傳へたくないと思ひます

結核はいさゝかの自覺も持たず既に發病して居る事がありますあなたの誕生日を健康日として最寄り健康相談所なり主治醫なりに毎年精密な健康診査を受ける事が肝要です殊に家人や友人中に病人があるならば、其の要は一層切實で家族全體の健康診査を受く可きです

◇…小兒の如き感染し易き

ものは尙更ら屢々檢査すべきです、それに依つて醫者は早期に病氣を發見し、同時に結核恐怖症も退治してくれるでせう、一度發病するならば「學校を休ませるのが何んだと思つて」等と何程受診しなかつた不注意を理由付けても何の足しにもなりますまい、アメリカ・イギリス ドイツ等では年々結核の死亡者を減少し半分になつた國さえあるのに、强國と文化を誇る日本には未だ其の傾向さえ見えません、對岸の火事、明日の話ではなく、火はあなたの背を燒かんとして居ます、子供の切實なる願は皆樣の御協力と御理解に依つて結核豫防の實を擧げ、一日も早く結核菌を大學の研究室內にのみ追込めてお國のために盡したいことです

金のある人は金を
權力のある人は權力を
力のある人は力を
智慧のある人は智慧を
何物もなき人は！
何物を持たずとも、赤手空拳、先づ「闘はんかな」と立ち上つて下さい(新京健康相談所)

文藝

蠖姑の戲〔下〕

新秋隨筆　松村冬木

木を植へることを單なる功利事業視せず、古來からの「木を植へること即ち德を植へること」の床さや奥深い思想を思つてもらいたい。幸に新京では高貴な方々又は顯著な方々の御來訪の機會は屢々あることだし、神聖な御手植の行事に依つて、夫々の盛德を布き弘めるの機縁としてもらいたいとも思ふ。嘗、私が北滿の某縣に在任した當時、討匪工作に從事して山奥に出かける毎に、アカシヤの苗木を暇々に集めて五百本を縣城内へ移殖したが、今はどうなつてゐることか？私達が例へ十人二十人決死で、地方縣に這入つた處が燒石に水で、殘るものは何もありはしない。特に是が是で通らず、非が非で通る滿洲の過渡的現狀では、せめて一木一石を殘すことの方に無限の意義があつたと信ずる。

又此頃の夜々に、灯をしたつて飛び込んで來るケラが二匹や三匹ではない。此のケラを見る度に死んだA君を思出す。ハルビンが水の下に浸つた年、ようやく街の步行が出來だした頃、中央政府の命を受けてスンガリーを下り任地に行つたのだが、出發の送別席上でケラが飛び出して一座を賑はした際、A君の曰く「田舍の滿人はケラを三匹、生のまま呑めば病が癒ると信じて此奴を呑んどつたが一おい！諸君試みてはどうだね！」と滅多におどけた事のない彼がオケラと同じ表情をして皆を笑はせたことが、あり〱と浮んで來る、そして紅槍匪に擊れてハルビンに遡る途中「おい、しつかりせい、ハルビンの灯が見へるぞ！」と元氣を附けたのだが、「有難う腹の彈傷の痛みがなくなつた。樂になつた！」と其儘瞑目して遂に二度と物を言はなかつた。

未だに彼の石碑が現地に出來たことを聞かない。日系官吏の敍勳追位の中にも彼の名は見出さない、まるでケラの戲と見られた彼は、地下で「そんなこと、どうでもよか〱」とおどけてゐるだらうが建國の人柱となり、神となつた者を遇する私達の至誠の足らざる處に英靈の加護は絕體に望めない。最近もA君の死場所で、江防艦隊將士が十數名も殉難されたと報ぜられてゐるではないか！一秋風の中でビールを呑み乍ら、物思ふことは限りない、そしてケラを弄ぶことは一層に淋しい（二五九六、八、二二）

赤ペン放送室

石敢當氏著はすところの「雜談支那」によれば、日本人のいはゆる青龍刀といふのは大刀が正しい由である、寛城子の住人奥一は青龍刀のつもりでこの大刀、サビのある風格の奴を壁にかけて悅んでゐる、術よりも力で叩つ斬るといふこの刀でアルジは何を叩つ斬る積りであらうか、尤も近所の牛や豚はこの刀のある部屋が見えないであらうからつねにのどかに鳴いてゐる「部屋中を日本式に飾らうかと思つたがとても駄目だつた」アルジはさう言ふ、ムリなことを言つてはいけない寛城子の家は三重の硝子窓、厚い壁のロシア建てなのに

幻想曲（上）一幕

石川良滋

舞臺。淋しい郊外の或る家。浴衣を着た若い男がピアノを彈いてゐる。彼は作曲家なのである。夜十一時過ぎ。窓は開け放してある。月はあるが薄絹を被つてゐる。時折木々の搖れ葉がさやさやと鳴る。暫くにしてピアノは止む。

作曲家　ア、。（溜息する）てんで駄目だ。今夜の樣ないい晩に。…ア、、こんないい晩に。月も霞んでゐるといふのに。……何といふ醜態だ。

そう云ひながら窓に倚つて月を眺めてゐる。時たま郊外電車の音が聞こえる。

作曲家　それにしてもあいつは何時まで捫りやがるんだ夕方出て行つたといふのに算段がつかなかつたのかな……おや、（と、向ふをすかし見て）誰か來る樣だぞあいつかな。（ヂッと見てゐる。）あいつにしてはゆつくりしすぎてゐる。（やがて近づいた人を見て）何だ、男ぢやないか。馬鹿にするない。（その男その邊をウロ〱してゐる。）チエッ！胸糞が悪いや。

作曲家またもとの位置にかへる。

作曲家　ランランランランと。（鍵を叩く。）ランランランランと

あゝ、腹が減つた。（と傍にあつた一錢饅頭を頰ばる。）昔々、ある所にロビンソン・クルーソーといふ男がありました。したが、彼は男なるが故に或る絕海孤島に漂流しました。食料品の不足を感ぜずに生活する事が出來たそうです。ランランランと。

（鍵を叩く。）

この時、一人男が窓から覗いてゐる、さつきの男である。絆天を着偉大な體格の持主である。

作曲家　月はかすみて、木々は揺れ……か。月はかすみて、木々は揺れ……。どうもここんとこんとこが……どうもうまくいかん。これをクサーン・レコード會社の北陸野君に唄つて貰ふとしたら……どうもここんとこが。ここだけなんだがなあ。而も此處が一番肝腎なんだが。ここを引き緊めるべきなんだが。月はかすみて、木々は揺れ……。ア、駄目だ。（又饅頭を摑む）

さつきの男、それを欲しさうに見てゐる。

作曲家　（その男に氣付いて）ア、もしもし。そんなところから覗いちやいけませんよ。一體あなたは誰方ですか。

男　（周章てて）イヤ、何、今此處を通つてゐるとピアノが聞こえるんで一寸立寄つて聞いてゐた所なんで。

作曲家　成程。あなたは音樂がお好きですか。

男　イヤ、少しはわかりますが、何、大した事はないんですが。その……あなたがあんまり上手いもんで惚々して聞いてゐた譯なんで。

作曲家　何ですつて？アハ…そうですか。僕がうまいつて？こいつアいゝ。まあ、そんな所で覗いてないでサア家にお這入り。臺所が開いてますよ。そんなとこで覗いてると巡査が通りますよ

男　（あはてゝ）ぢや、一寸お邪魔します。

絆天の男臺所へ廻る。素足である。臺所口の水道で足を洗つて周圍を物色してゐたが、道具らしい道具のないのに驚いて、忍び足で部屋に這入つて來る。

作曲家　今晩は。

男　イヤ、今晩は。（男の服裝に氣づいて）貴方は職人さんですね。

作曲家　エ、、そうなんです

男　イヤ偉い！職人さんにも音樂のわかる人があるとは賴母しい。サア、むさ苦しい所ですが、どうぞごゆつくり。淋しくて困つた所ですよ。

男　エ、。（とあたりを見廻す）

此處にも何等の道具もない。汚れた疊にボロボロの座蒲團が一枚。部屋の片隅にこれも古びたピアノが据えてあるだけ。

男　失禮ですが、隨分殺風景ですね。

作曲家　ソウ。貴方にもそう見えますかね。あたら天才兒もこうなつちや實際困つたです。サア、一つ如何です。（と、饅頭を奨める）

男　ヤア有難う。（と、美味しさうに頰張る。）

作曲家　所で、一曲お聽かせませうか。何がいゝです。「ベートーヴエンの第九交響曲」といふのはどうです。

男　そうですね。イヤ、そんなものより何か流行歌でもお願ひします。

作曲家　流行歌？そうですか（暫く間）ぢや、今私の作曲しかけてゐる「月の冥途」といふのをやりませうか

男　「月の冥途」？變な名前ですね。

作曲家　さう。所がこれが全國を風靡しそうなんだから大したものですよ。

作曲家彈き始める。「月はかすみて……」の所に來ると急に元氣がなくなる。

作曲家　ア、、實際困つちまふな。月はかすみて、木々は揺れ……。ア、ア、きみどうにかなりませんか。

男　（しきりにあたりを物色してゐたがハッと）エ？

作曲家　どうかならんでせうかね。此處んとこ。幻想的にしたいんだが……

男　サア、どうかならんでせうかね。

作曲家　そうですね。どうしたもんでせうねえ。ここだけなんですがねえ。此處か出來たら五十圓は手に入るんですがねえ。

男　（驚いたが素知らぬ風で）そうですねえ。（考へてゐたが急に思ひ付いた樣に）今「未完成交響樂」といふ映畫が掛つてゐるのを見たといふ人から聞いたんですがね。その中のシュー……シュー……シュー何とかいふ人が。（續）

官場現形記（140）

李寶嘉作　大内隆雄譯

＝第十二回の八＝

ほか三人のうち、文西山は旗人で、年齡も若く、顏も綺麗であつた。好い着物も着てゐた、それにおしやれではあるし、女が見て悅ぶのはむろんだし、男が見ても惹き付けられるくらゐであつた彼が七男であつたので、みんなは彼を「文七爺」と尊稱してゐた。もう一人の老人に姓を趙と言つた。彼の號は本來補蓼といふのであつたが、後には不了と渾名された、年齡は二十幾つであつた。家庭を離れ、鄕里を距てること二千餘里の地で仕事に着いたのだつた。

三年女人の面を見ざれば、水牛を見ても眉をゆがめ眼を細めるといふ文句に正に合致してゐた。趙不了は確かにそのやうな狀態にあつた。

最後に周であるが、この男については既に前に出てゐるから大抵知られてゐる。その人となりは、當代の學者が言ふ言葉を使へばまさにかの日和見主義者であつた。生眞面目な男に向へば彼はまじめにやる。遊び好きの友人にぶつかれば、すなはち女を呼び酒を飲む、何でもやつたものである。外面極めて圓通でだから誰でも親しんだ。だが一つ缺點はあつた、それは先天的なもので一生改められないものだつた、といふのは錢を餘りに大事にしたのである。女にやる錢以外は一錢と雖も空地に虛しく落さうとはしなかつた。出發を前にして、胡華若は彼に三百の金を渡したのだつたが、彼は一文も船には持つて來なかつた。全部友人に託してよそへ預けさせ將來利息を儲けやうとしたのである。彼の考へでは今度、隨員として土匪討伐に出掛けるそれには胡統領がきつと營二つは自分に率ゐさせるであらう、兵あれば餉ありだ、餉あればすなはち自分から上前をはねる事が出來る、若し萬一八百や千足らぬやうな事があつても胡統領にぜひ貸してくれと賴んだらいい、といふのであつた、戴大理に言はせると、周は硬い物は食ふが軟い物は食はんといふ男で熟知してゐる戴の言葉は正しかつた

さて、この文と趙の二人である。彼等二人はちやうど一隻の船に乘り合せてゐた。文は夙に心中劃策する所があつた。まだ船に乘らぬさきから漕ぎ手に、ずつと離れて船を出せ・統領の船とくつつけるなと命令して置いた。船の男は心得て、福の神が來たやうに思ひ込んだ。船に乘つて見ると、この船には玉仙といふ看板女がゐる、それは文が前に呼んだ事のある女であつたいま顏を合せて大いに喜んだわけだつた。文が胡の船に行き命令を聞いて歸つて來ると玉仙は急いで彼の帽子を取り帶を解き、衣服を換へ、靴を脫してやる、ボーイなど要らんわけであつた。やがて玉仙は自分で燕の巣の汁を持つて來、手を添へて彼に吸はせるのであつた。二人は手に手を取り、並んで坑の傍らに腰を下してゐる。趙はこれを見ると、眼がボーッとなつてしまつたが、心では、こいつらと言へば、結局勢利だな、役人を見るとそれに取り入らうとするんだなと考へた。

そんな事を考へてゐるところに、思ひがけずも一人が蓋のある碗を持つて來て彼の前に置いた。彼はびつくりして跳びあがつた。よく見ると別人ではなく、玉仙の妹で名は鬮仙といふのであつた、これも一碗の燕窠汁を彼に持つて來たのであつた。（つゞく）

天然甘味　優良葡萄酒

赤玉ポートワイン

一本で 洩れなく

味の素

特小瓶一個宛

贈呈

尚抽籤で左記大景品が當る！

●期間・發表當日より昭和十一年八月末日迄

應募方法

赤玉ポートワインの包紙のレッテル一枚と口金掩(錫製・左圖に示せるもの)の上部一個とを一纏めとしレッテルの裏に住所姓名明記の上　大阪市東區住吉町五二・壽屋サービス係へお送りあれ抽籤券と味の素とを送呈します●御郵送は封書にて四匁毎に三錢切手貼附の事・郵税不足のものは受附けません

●抽籤方法　一口(レッテル一枚と口金掩一個)毎に抽籤券一枚呈上　一千口一組　總數百萬口　當籤番号各組共通　新聞　警察　代理店立會　昭和十一年九月十五日嚴正抽籤　●當籤發表　同年十月一日頃全國新聞紙上及び當籤者へ直接通知　●景品送付　發表後二ケ月以內

この口金掩(錫製)の上部一個とレッテル一枚とで一口

これではありません

口金掩

1等　姿見鏡台　(一台宛)

又は下記の内お好みの一品

座敷用机…………一台宛
八端座蒲團五帖組……一組宛
純毛二枚續毛布………一枚宛

(當籤數一千口)

2等　家庭用自動秤　(一台宛)

又は下記の内お好みの一品

洋食器……スプン・ナイフ・フオーク三客分宛
家庭用常備救急箱……(各種藥品詰合せ)一箱宛

(當籤數二千口)

3等　デッキチェア　(一脚宛)

又は下記の内お好みの一品

家庭用大工道具セット…(六品入)一組宛
ハイキングセット………(三品入)一組宛

(當籤數五千口)

4等　電氣アイロン　(一個宛)

又は下記の内お好みの一品

割烹着…………一着宛
番茶器…………一揃宛

(當籤數一万五千口)

レッテル及び キャプセル　送り先　大阪市東區住吉町五二　壽屋サービス係

吾等が部隊の爲に 慰問袋を贈れ！

全市民に期す"銃後の後援"

締切は九月五日まで

滿洲帝國の治安は皇軍並に日滿各機關の決死的努力により着々確保されてゐるが交通不便の邊境には今尚ほ匪賊の跳梁すくなからず就中東邊道奥地に出動中の新京〇〇隊は味方に數十倍の匪賊と交戰惡戰苦闘をつゞけ漸くにしてこれを擊退したが、同地方は交通極めて不便なる山岳重疊たる地帶で氣候其の他の關係上同隊は言語に絕する苦闘をつゞけつゝあるとの情報に接した滿鐵新京事務所では我等が部隊に對し市民としての心からなる慰問をなすため全市民から慰問袋を募集することゝなり、これが打ち合せ懇談會は二十六日午後二時から綜合事務所二階會議室で開催された

出席者中野總領事代理、關東軍兵事部陶村少佐、小松附屬地聯合町內會長以下各町內會長、田中居留民會長各學校代表、矢澤新京婦人團體聯盟委員長代理等二十餘名

劈頭武田地事所長より慰問袋募集に關して現地部隊の狀況を說明し、贊否を求めたところ滿場一致贊成、募集方法其他につき高山社會主事より原案を說明各の意見を徵し左の如く決定した、即ち募集する慰問袋は附屬地內は各區長城內は聯合町內會に於て取纏めることゝし締切りは九月五日まで慰問袋は價格一圓內外とし將兵に最も喜ばれる繪葉書類、キヤラメル、チヨコレート、罐詰類等の食料品と子女のある家庭ではそれに少年少女の慰問文を添へて頂けばなほ更結構である、この慰問袋と同時に國防婦人會の手を煩はして興味本位の雜誌、單行本類を募集することゝなつたがこの分は國防婦人會で取纏めて置けば地方事務所から蒐集に行くことになつてゐる

本年最終の五萬圓大ガラ

馬政局第十回蓐搖彩票發賣

國都ファンは勿論、全滿に人氣を集め專ら評判となつて居た馬政局の第九回蓐（大）搖彩票（大ガラ）は去る九日新京賽馬場に於て抽籤の結果、一着は一萬九千六百圓の大配當金が地元新京に落ち"蓐搖彩票の人氣は一層高まつたが馬政局に於ては引續き二十五日より第十回蓐（大）搖彩票を奉天國立賽馬につき發賣を開始した、右發行額は五萬圓で既に全額代賣人に割當濟みで今回も前回同樣大配當は殆んど確定的となつた、尚本年は之が最後の發賣である

建國記念野球大會 開戰目捷に迫る

優勝期し集ふ精鋭十二チーム

秋のスポーツシーズンの劈頭を飾る第一回建國記念野球大會は滿洲球界稀に見る劃期的豪華版として全滿野球ファンの異常な期待裡に愈よ二十九日から五日間に亘り西公園球場にて華々しく大會の幕を切つて落す事となつた、既に本紙連載の新京クラブ監督源川榮二氏が蘊蓄を傾けた大會前記により參加チームの全貌は遺憾なく檢討し盡くされたとは言ふものゝ、戰ひは兵家の常突如として出現するダークホース試合は如何なる波瀾を捲き起すか豫測し難く、各チームとも今や虎視眈々榮ある優勝を目ざして血の滲む猛練習を續けてゐる、果して何處がこの名譽ある歷史的第一回大會の霸權を獲得するか、ホームグラウンドを利する新京四チームの卍字戰或は名だたる實滿戰がはからずも西公園原頭にクローズアップされるや否や、現在參加決定の全滿各地十二代表チームが精魂を傾けて繰り擴げる熱球長棍譜にはたとへファンならずとも自づと血沸き肉躍るを禁じ得ないであらう、たゞ惜しむらくは此の歷史的大會に奉天日滿實業倶樂部が內地遠征中のため缺場の止むなきに至つた事である、然し滿洲國體育聯盟、滿洲野球聯盟、兩主催者側では既に準備怠りなく二十六日午後二時からグラウンドで實地打合せを行ひ、輝く優勝旗も既に出來、たゞ當日を待つ計りとなつてゐる、なほ當日の盛況さは今から豫想されてゐるがファンにとつては便利な前賣券が既に市內各運動具店で發賣されてゐる、全期間一般二圓五十錢軍人、滿人、學生一圓五十錢、當日券は一日二試合以上の時は七十錢、一試合の時は五十錢、軍人、滿人學生は四十錢の三十錢である（寫眞は大會優勝旗）

トラックに刎られ即死

原籍東京市目黑區下目黑新京城內西五馬路大福旅館內、營繕需品局勤務長崎普氏（四二）は二十六日午後一時ごろ大馬路四十三號地先で橫斷せんとした際南嶺から新京に向つて疾走して來た朝日通り淺野商會の砂を滿載したトラック（運轉手王九齡）に右胸部と衝突し肋骨全部を挫折即死を遂げた

滿人搔拂ひ捕る

二十六日午前四時ごろ和泉町附近を徘徊中の擧動不審な滿人を谷本刑事が取調べたところオーバ用毛皮二枚を所持しており、追及したるに芙蓉町二丁目陸軍官舍四十六號步兵少佐五島正氏（四八）方から盜んだ外陸軍官舍裏門に洗濯物を多數搔拂つた旨自供した

記念公會堂理事會

新京記念公會堂第十四回理事會は廿二日午後三時半から開催中野理事長、武田常務理事以下各理事竝殿書記長等出席議案一、評議員推薦の件は五十名見當にて推薦することゝし其の詮衡は理事長、常務理事及び理事長指名の三名の詮衡委員に一任することに決議理事長より石崎得丸、梅津三氏を指名理事會閉會後引續き詮衡委員會を開き候補者を擧げ就任承諾を求めることゝし議案二、清水理事辭任申出での件は中銀庶務課長及市民有志として此のまゝ留任を請ふことに決定議案三、は評議員の承諾を求めることゝし議案四、退任理事記念品贈呈標準の件は感謝狀又は記念品を贈呈することゝし其の商量を理事長及常務理事に一任議案五、記念公會堂額揭揚位置の件及び寄附を受けたる物件の處理は公會堂の自由としそれに對する干渉は一切受け付けざること等を決議午後四時半閉會した

福祉委員助成會幹事會協議

新京福祉委員助成會幹事會は二十七日午後二時から綜合事務所二階會議室にて開催、無料宿泊所新設の件、特別市南嶺授產場に日本人收容の件其他につき協議する筈である

鹽原八重子夫人の送別音樂會開催

本社後援　四日夜七時から公會堂

滿洲國々務院人事處長より朝鮮總督府南大將秘書官として榮轉する鹽原時三郎氏夫人八重子女史の離京を惜む送別音樂會は來る九月四日午後七時から上野東京音樂學校同窓會新京支部、愛國婦人會新京支部共同主催、大新京日報並びに本社後援のもとに記念公會堂で盛大に催さることゝなつたが、同會は學友である同夫人を送りその將來を祝福する音樂會であるとともにソプラノ、アルト、ヴァイオリン等同窓會員で各方面の專門家が期せずして新京に集つてたのを機會に相寄り國都においては未だ寥々の觀ある音樂界の向上と普及に資するための催でもある、會費は一圓であるが全收入は擧げて愛婦支部に寄附され社會事業の資に供せられることになつており初秋の夜を飾るに誠に義深い音樂會である

本社後援

第一回滿洲國各官署對抗武道試合

廿七日メムバー組合せ發表

本社後援第一回滿洲國各官署對抗武道試合は發表以來俄然武道ファンの間に素晴しい反響を呼び既に申込を終つた個所は柔劍道あはせて二十ケ所を超え當日の盛況を豫想されてゐるが、なほ各代表選手は連日の猛暑を冒して新京首都兩警察及び中銀、電々等の各道場で猛烈な練習を開始し大會の霸權を獲得せんと張り切つてゐる、メンバー及び組合せの發表は二十七日の豫定であるが、未だ申込なき個所は至急國務院總廳秘書處滿洲帝國武道會宛申込まれたい、なほ當大會は張國務總理大臣が滿腔の讚同を寄せ特に「勇貫向行」の揮毫があつたのでこれを染めぬいた手拭を參加者一同に記念品として贈呈する事となつた

東京聯合少年團 衛戍病院慰問

廿五日來京した東京聯合少年團皇軍慰問使一行は廿六日午前九時より日滿各機關を訪問した、午後二時半衛戍病院訪問、白衣の勇士を慰問した

盜んだ二萬圓で四年間ホテルを經營

"日本橋通りの太い泥棒野郎"

盜んだ金でホテルを開いた男が四年目に捕つて內地へ押送された—東京市本所區押上町生れ新京日本橋通り六十三番地某ホテル經營者齋藤宗一（四八）は昭和八年一月當時東京市京橋區土木請負業竹田組青森出張所主任代理で勤務中青森市忍屋抱へ藝妓定丸（二二）＝假名と馴染みとなり使ひ込んだ揚句、請負金一萬九千餘圓を青森縣廳から受取りその金で定丸を落籍し搜査網を巧みにくゞつて新京に來り現在の某ホテルを經營して大きな顏してゐたが、最近青森縣刑事課の探知するところとなり新京總領事館へ手配あり二十一日領警署員に逮捕され前記犯行を自白し身柄は二十五日青森檢事局に押送された

西川中將廿八日來京

福岡少年聯盟團滿洲派遣幹部西川虎次郎中將外二名は二十八日午前六時二十五分着列車で來京、午前中は日滿少年團合同交驩會を催し夜は縣人會合同の歡迎招宴に臨み二十九日は午前中軍司令部を始め在京部隊を慰問し午後四時新京驛發列車で離京する

奉天快勝 對田村駒戰

13A—5

【奉天國通】日滿野球交驩使節の來朝第一戰奉天實業對大阪田村駒商店戰は廿五日午後四時五十分から實塚球場に於て大橋島田兩氏審判の下に田村駒先攻で開始十三A對五で奉天軍快勝した、閉戰六時、スコアーは左の如し

田村駒	0	0	0	0	1	0	3	0	1	5
奉天	5	0	0	0	0	2	1	4	1A	13A

第一回林業移民近く來滿

滿洲國政府が林業開發の爲め過般拓務省に對し熟練勞働者の林業移民斡旋方依頼中の處人選決定し愈よ一行百二十八名は四班に別れ第一次林業移民として來る九月十二日新潟港を船出して清津に上陸圖佳線經由A班三十二名は古洞河B班三十二名は草皮溝、D班三十二名は二道河子、C班三十二名は大青山の各移民地に九月廿日頃前後して入植することに決定した、尚ほ本移民は十ケ年計畫の下に五千名を入殖せしむるもので無限の森林開發の上に多大の期待がかけられてゐる

「滿洲國新京警察署署長樣及驛前其他市內各派出所、滿洲國人旅館御一同樣」（原文）裏書には「奉天驛附近悅來棧九州鹿兒島の生れ今迄東京に住む二上敏忠」といふ念入りの手紙が新京署に舞ひ込んで來た▼餘程のことでも賴んであるかと新京署で開封してみると半紙三枚の筆跡と仁丹の廣告二枚がは入つてゐた▼讀み下すうちに流石のお巡りさん達も苦笑せざるを得なかつた文面によれば何でも二上敏忠（二六）は東京の學校に在學中腦病を患つたらしく支那を旅藝人となつて廻つてゐる養父工藤彥太郎（六六）さん夫妻の後追つて朝鮮から奉天まで乞食をしてやつて來たひどいキ印からのとり止めもない手紙と判り巡査連中口あんぐり▼人にものを賴む時にはそれ相應の禮儀が必要である、このキ印の乞食タンはちやんと仁丹の廣告を同封して來た折角の仁丹ではあるがキ印には效きません、あなたの方で使つて下さいといふ意味なのであつたかも知れない

新京の名所を語る座談會（十）

觀光客が落す金は一体どれ位？

多年の宿望觀光協會の實現

大原座長　關口さん觀光協會は新京一つで出來ますか

關口氏　新京一つでつくります奉天、大連、旅順には既に觀光協會が出來てゐます安東では勝地保存會といつた名稱で同樣なものが出來てゐますがこれらを一緒にした聯合會も造り上げたいと思ひます

瀧氏　北滿での重要な地であるこの長春を素通りさすのはいけないなにか施設をと滿鐵に幾度もお願ひしましたがどうしても取りあげてくれませんでした、今度觀光協會が出來るとなると吾々も非常に嬉しく思つてゐます、多年の宿望がかなつたやうな氣持がします

奧村氏　實際問題として觀光協會が出來れば何程の金が新京に落ちるでしようかね

四戶氏　さあどれ位でせうか

奧村氏　觀光協會が出來れば百萬圓は新京に落ちるでせうなあ、旅館方面は非常なものだらうと思ひますねえ

田口さん

瀧氏　名所もよいが泊る所ですね、名所古蹟にとつて必要ではないでせうか、村田さんの所長時代私は溫泉場とか色々の娛樂場とかいつたものを造りたいと申し出ましたが遂に駄目でした觀光協會が出來れば是非かういつたものも必要だらうと思ひます

奧村氏　新京驛では乘る人よりも降りる人が多いさうですね

稻川氏　そうです

米良氏　私の方（大興公司）で土產物の販賣をやつてゐますが、まづ五萬圓から十萬圓といつた賣上げでせう

田口氏　去年ビューローで扱ひました實績から見ると內地から來た團體が三百四十一團、そのうち學生が二百三十團普通團體が百十一團これを人數に表すと學生の方が千四百九十六名、普通團體の方が二千六百二十五名、合計一萬七千百二十一名です

このうち投宿が六分、直通が四分、學生一泊の宿賃は普通四圓、學生一圓九十錢程度ですから全部で二萬二千八百三十圓といふ勘定、またこれに要した乘物代はざつと一萬圓、みやげ物が一人平均五十錢と見て八千五百圓、合計四萬二千圓となつてゐますが、これはたゞビューローで取扱つた分のみでそれも料理屋やカフエーなどで遣つた金は這入つてゐません

米良氏　私の方では觀光客といふよりも新京から日本へゆくのにお土產として買つてゆくのが多いやうです

座長　團體以外の方が大きいと思ふ

關口氏　かうしたことは想像では可けないから一部分の人についてゞもよいから標本調査をやつて見ることですね

田口氏　學生は學生、普通客は普通客と各階級別に當つて見ることでせう

奧村氏　そうでないと案が立たないでせうなあ

寫眞＝上から宮內府前と國都の玄關新京驛

×　×

日時　八月十二日午後四時

會場　大和ホテル會議室

出席者（順序不同）地方事務所鯉沼副所長、國都建設局藤森庶務科長、市公署關口調查科員、商工會議所尾藤理事、奧村滿洲事情案內所長、長谷川放送局長、大原地方委員會議長、矢澤中學校長、稻川新京驛長、大興公司米良氏、田口ビューロー主任、頭道溝商務總會孫化南氏、交通會社永井支配人、松本、中馬兩課長（一般民間側）四戶友太郎氏、瀧竹三郎氏、五味武太郎氏（本社側）細川取材部長、河根、井上兩社員

妖魔往來

（講上映演） 桃川燕二演 内山鉦太郎畫

三五

「有難え／＼、然うでもして貰はなくちや腹がペコ／＼だ」

森の中へ少し擔ぎ込んで三人は木の切株へ腰を掛け込んだが、蛇の島吉が山駕籠の上に結へ附けてあつた風呂敷包を取つて其處へ明けると大きな握飯が幾つも轉がり出した。

「旨さうだな腹の減つた時に不味い物はねえ、一つ御馳走にならう」

「待て／＼―乃公の手も附けねえ内に先に食ふとは何だ」

「お客様だから愚図々々云ふなお前は亭主役、俺と乃公は客人だ」

「巫山戯ヤアがるな、お毒味をしねえ内に」

「何うも鹽氣のねえ、握り飯だな」

「酔つて見ろ、中に梅干が這入つて居る」

「ナール程是は鹽氣だ」

三人話しながら握飯を食つて居る、斯くとも宇都宮八郎心付きません、駕籠は森の中へ擔ぎ込まれた勿論森の中と云つて街道ではございません、此森の中を突切るのが道筋、凡そ小半丁ぐらゐ後から悟られぬ様にと尾いて來たが、森の中は遮られて夜明の薄明りでは能く分りませぬから先へドン／＼往つた事と心得て森へ這入つて來た、向ふへ氣を取られて居りますから横が分らない、此時三人は食ふ方が急がしくて話が途切れて居た、話し聲が聞えればそれと悟るのであつたが、別段聲が耳に這入らないそれと心付きませんからズン／＼森を出抜けて了つた、八郎の方では氣が附かなかつたが、三人の方ではチラと其姿を認めた大きな樟の木の蔭に居たが樹間々々と生えつた間から急ぎ足に向ふへ行く武士の姿が分つた、三人眼と眼を見合せて暫く默つて居たがやがて、

「今頃彼の武士奴何だつて此處等を歩きやアがるのだらう、宇都宮から乃公達の跡を尾けて來たのかも知れねえぜ、七里八里飛出したつて、氣の許されたものぢやねえ、般若も、小穴も、確乎りしなくちや不可ねえ、此處から道を變へよう」

「兄貴然う心配が要るものか、お嬢に惚れた武士が跡を尾けたのなら此處まで來ねえ内に何とか文句を付けらアな、八里も踏出す間默つて居る氣支ひはねえと云ふものだ」

「それも然うだな」

「茲で愚図々々して居た日には迚もお前の話した我孫子の滿七の處へ今夜往けるものぢやあねえ」

「大きに然うだ、猿の女を宿屋へ擔ぎ込む譯にや往かねえ、大概に我孫子まで飛んで、宍戸の滿七に仔細を話して一日二日休まして貰つて江戸へ出る積りにしてあるあの武士が變だと思つたのは氣のせいだらうちや構はねえ出るとするかな、何にしても瀬街道の我孫子までは容易でねえ、此處らで狼狽るのは不可なかつた」

「用心掛け様ぢやねえか」

「宜からう」

其處で駕籠を擔ぎ出した、森を出抜けると最前の武士が庚申塚の蔭に石へ腰を下してじつと駕籠の様子を見て居る、これは八郎夜も白々として來たし、行手を見れば駕籠が往つた様子もない、それでは森の中で休んで居たのかと氣が付いたからやり過すのを待つて居たのでございます、ところへ駕籠が通り抜けた。

「何うも變だな、彼の野郎はずん／＼先へ往きやアがりや宜いにあんな所に待つて居やがる」

「構はねえどん／＼行からぢやねえか」

「然うとも／＼」

足に任せてどん／＼走る。